# 戦国妖狐

8

水上悟志

せんごくようこ

# 8

水上悟志

contents


3 第41回 真介とたま、空白の時間

41 第42回 荒れ都の狂神

77 第43回 京の王

109 第44回 千夜と月湖

143 第45回 幽界

娘はもらって行く

月湖から手を離せ

今頃その気になっても

遅せ――んだよ!!

千夜!!
月湖!!
!?

# 第41回
# 真介とたま、空白の時間

にょろっ
！
あの人…
なんだァ
テメー!?
ふッ!!
ぶわっ!?
前が…！
木の葉!?

お
おお
らぁ!!
いってぇ!?
硬ってぇ!?
何しやが…あっ!?
娘落とした!!
!

月っ……
……!?
いい!?
!?
月湖!?
んなあああ!?
月湖が増えたなう

幻術かよ!!
どれが本物だ!?
!
たま!!
!
大丈夫か?
そっちか!!
たま!!
バレてるぞ
!!

うっ
月湖!!
バカが!!
稚拙な目くらましだったな!!
あばよ
ははははは

くっそ!!
まんまと
さらわれちまっ…
これまた随分と
あっさりひっかかったなー

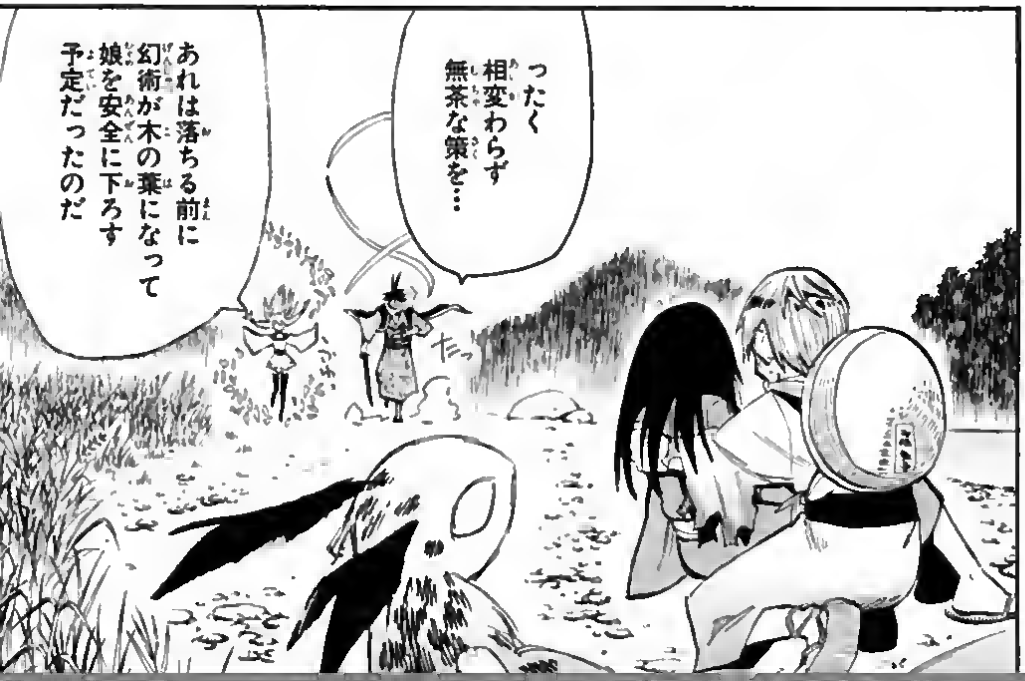
……は?
あ お前も
気付いとらん
かったか
あいつが
さらっていった
のは幻術の方だ
…じゃ
本物は?

あっち
ちょおおお
どっどれえええ!?
月湖!!

千……
龍と戦うなんて
無茶を…

千夜すげー
どうやって本物見分けた？

偽物はその小刀を持ってなかった
おー

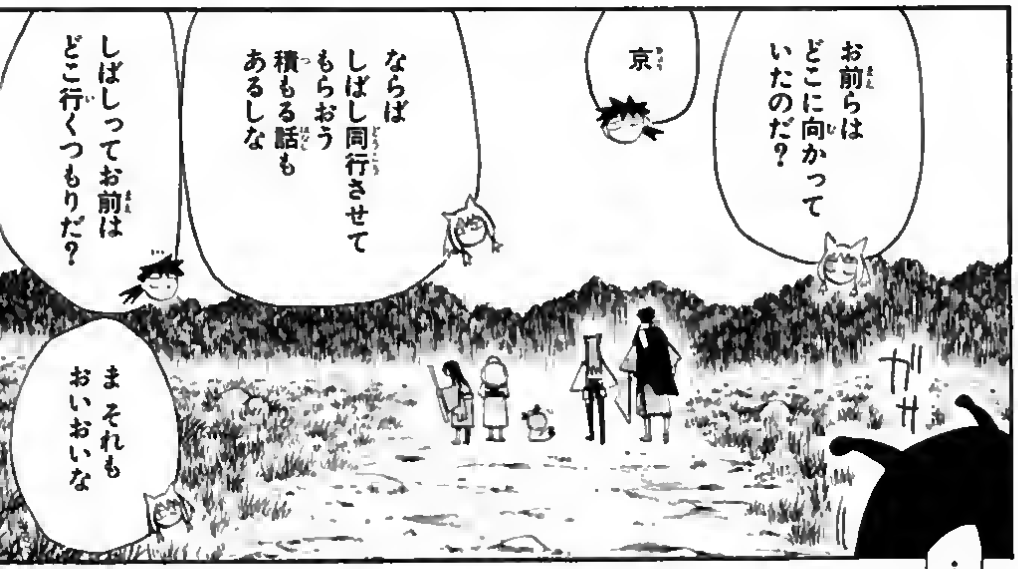

ったく相変わらず無茶な策を…
あれは落ちる前に幻術が木の葉になって娘を安全に下ろす予定だったのだ

あ
ありがと…
いや…
……
確か…
千夜…
だったか？
久しぶりだな
あ…ありがとう
ございました！
……
どちら様で…
…？
おい？
…色々
あったんだよ
お互い長生き
お前こそ
その姿
背を伸びたて？

なう

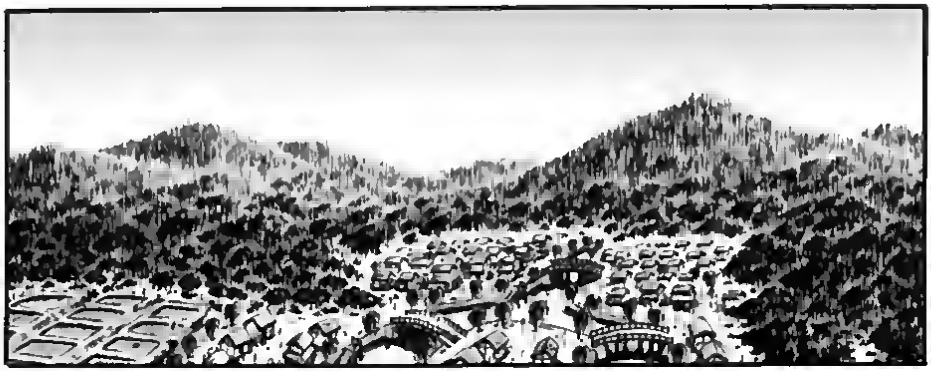
バシャー
あ
戻った

ま 色々あってな
かっこよかろ
？
かっこいい…
あー


お前らは
どこに向かって
いたのだ？
京
ならば
しばし同行させて
もらおう
積もる話も
あるしな
しばしってお前は
どこ行くつもりだ？
ま それも
おいおいな
ガサ

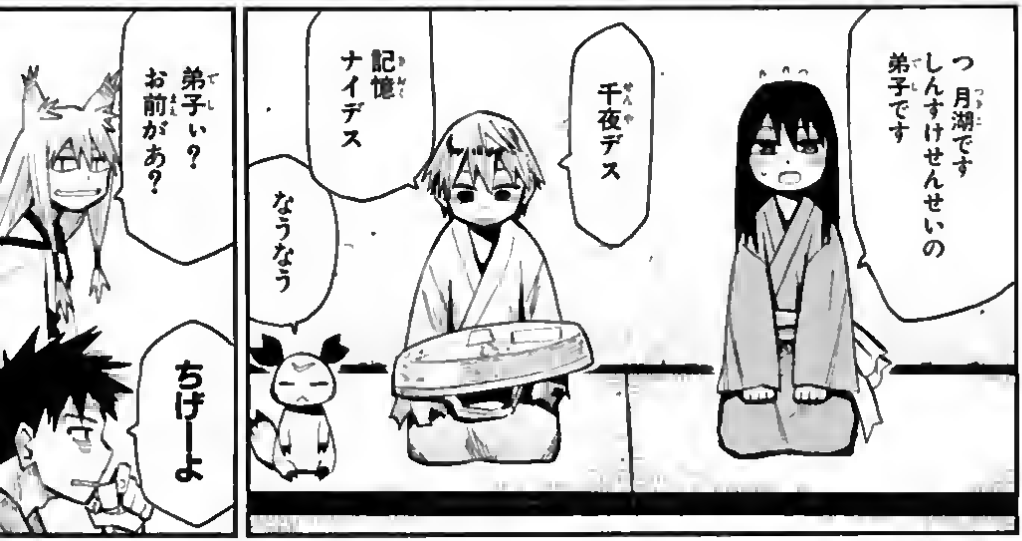
……
…くそー……
また
しくじったか…

おのれ千夜め…
とにかくまずは
あの腕力バカを
捜さねーと…
覚えて
やがれっ!!
ヤニっ



御休泊
では扉を落ちつけた所で
自己紹介をしておこうか

おれは「たま」という
真介のかつての仲間だ
にょろ
あー!
こちらはおれの幻術の師匠だ
師匠？闇なのそれ
……


つ月湖ですしんすけせんせいの弟子です
千夜デス
記憶ナイデス
なうなう
弟子い？お前があ？
ちげーよ

ししんすけせんせいは
つ強くてかっこよくて
りっぱな剣士です
…裏われとるじゃないか
うるせ
いいからお前ら外で遊んでこい
おれぁこのおねーさんと話あっから

久しぶりだな

あ あのひと…
せんせいと かつての仲間って
…なんの仲間かな…
……
おれさま 風呂入りてーなう

…おれとは仲間だったってカンジじゃなさそうだったな…
まあいいけど過去なんかどうでも…

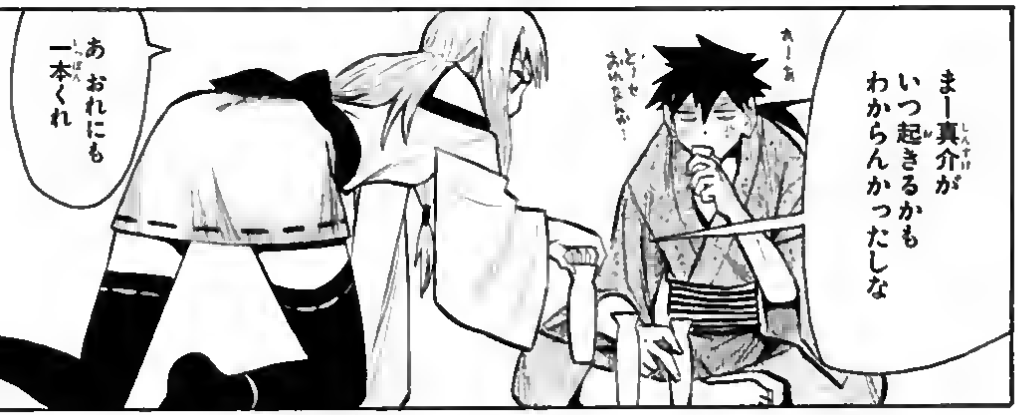
…じんうん…

せ 千夜チャンバラしよ?
…あうん

さて…何から話したものかな
その前におれに何か言うことねーのか
なんかって

断怪衆本山での
戦いの後
山の神んとこで
目覚めた時には
お前は居なかった
ひでーじゃねぇか
置いてくなんて
?

ああ…
やーー
すまん
すまん
軽っ!!
うっわ軽っ!!
すげー傷付く!!


まー真介が
いつ起きるかも
わからんかったしな
あ おれにも
一本くれ

しかし急いで
発ったわりには
成果はなかった
かつての
幻術の師の下
へ行き
術を増やし
迅火の手がかり
求めて
あっち行ったり
来たりだ

アテなくか
この師匠がな
にょろ
あー…
どこかに隠れ住む凄腕占い師の居場所を知ってるらしくてな
今はそれを目指している

その占い師ならわかるってのか
迅火の居場所が
さあな

……
はー

はー
真介の方はどうだ
おれより大冒険をしとるように見えるが

そうだなあ…
……は？
迅火はなんか凄い
バケモノになったまま
行方不明で
たまは迅火を
捜しにおれを
待たずに
旅立った…？
はあ
すまないと
伝えてくれ…と
…あー
…断怪衆の件も
なんか滅茶苦茶に
なっちゃったし
灼岩の仇も
討ったし
少しは強くは…
なったか？
でももう仕官
とかどうでも
いいし
迅火を捜す旅に
同行したとして
…会ってどうすんだ
おれ？…

……おれ なんのために 生きてんの？
どばあ
泣くな 真介くん!!
キミに 目的を あげよう
ヌシ様!!
うわあ どっから
ここで三か月 修行した後
迅火くんを捜し出す仕事を キミに依頼したい!!
……
やる理由が 見当たらねえ
ぼくに頼まれたから
ではダメかな？

うーん
…悪いけど
あんたのこと
な――んか信用
できねえんだよなァ…
いいよ
しなくて
で仕事の報酬
なんだけど
岩に変化した
キミの友達を
目覚めさせてあげる
っていうのは
どうかな

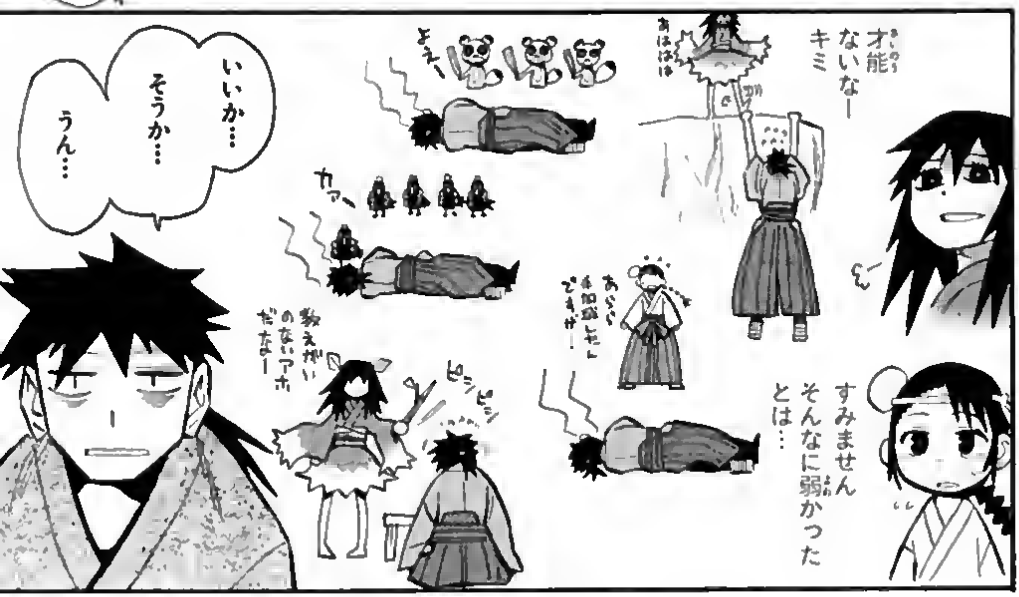
マジかよ
って顔だな
もちろん
ぼくを信用
なんかしなくて
いいよ
キミは自由
だからね

……
できるのか
……？
灼岩を
目覚めさせる
ことが…

待て待て
待て
三か月も
はしょる
のか

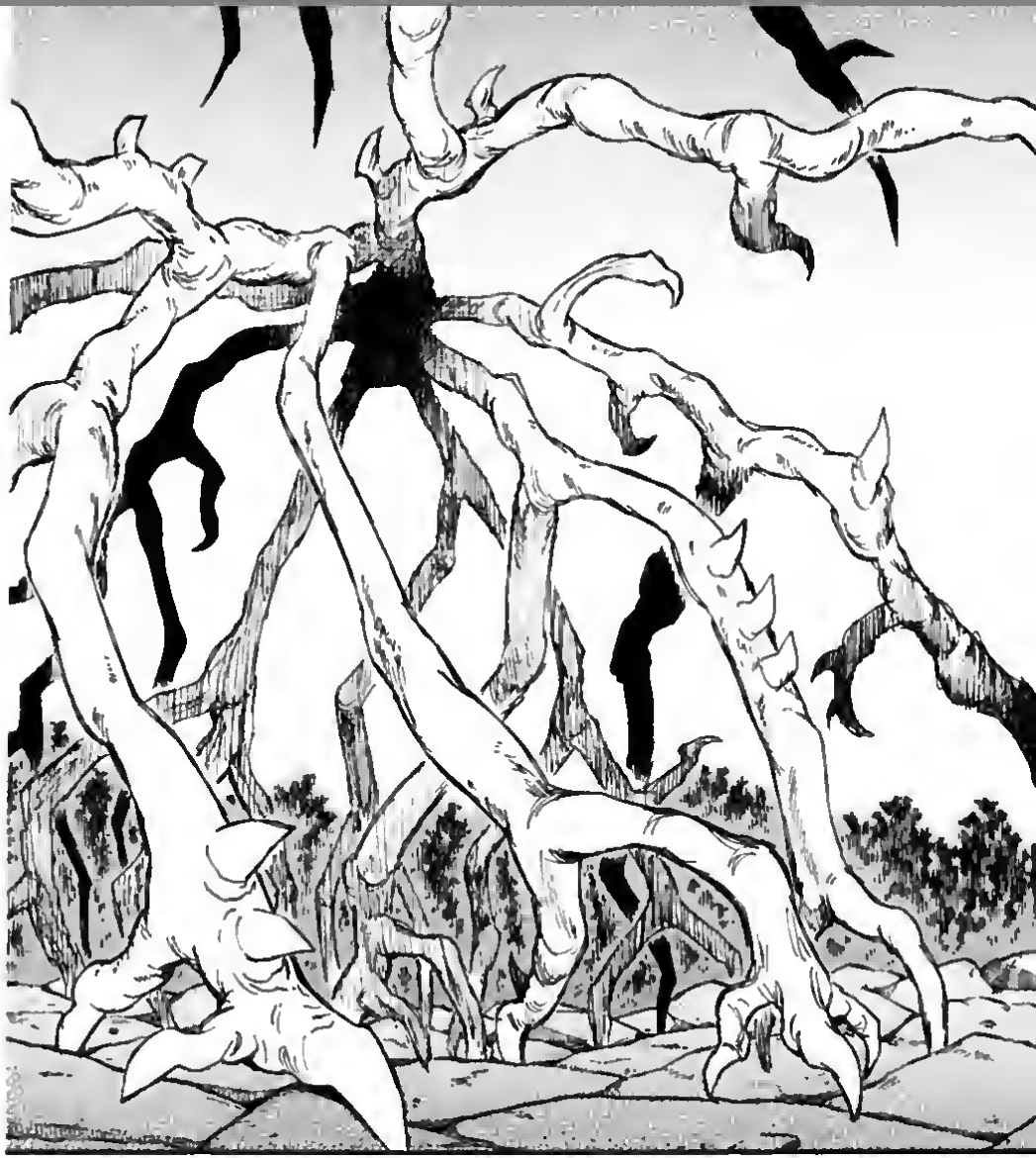
さあな…まー
色々気に入らねぇ
けど
とりあえず
おれは
引き受けた
それから
三か月後
修行を終え…

お前だってはしょってんだろ
どんな修行をしたのだ？
ま――
霊術 体術 座学
詳しく話すと単行本10冊分の地獄を見てきたが聞くか？
いやいい


才能ないなーキミ
あはは
ドテ
カッ
あらら 手加減したつもりだけど…
勿えがいのないアホだなー
ピュンピュン
いいか…
そうか…
うん…
すみません そんなに弱かったとは…

まあ…そうして迅火を追う旅のためのわずかな力と心を潰さんばかりの劣等感を得たおれは
ある日 山の神に呼び出された場所でそれを見た
お来たか真介くん

ちょっと下がってた方がいいよ
取り込み中だ
ななな
なんだあ!?



彼にも仕事を頼もうとしたんだけど

聞き分けがなくてねえ

父上…いや
師の仇を討つのが
弟子の役目
お覚悟を
山神様
あいつ…
千夜…!?
封印が解かれたのか…!!
だからさ父上は
封印しただけで
生きてるんだって
仕事を
引き受けて
くれれば無事に
開放するよ？

断怪衆の
僧兵たる者
土地神とはいえ
闇の手下になど
なれませぬ!!

残念だよ
キミなら
いつか
千本妖狐を倒せる
可能性があったのに

がっ…

そして
それほどの大器
たかが人の組織の
一員に収めておくと
闇の世界に迷惑だ
千魔混沌の
魔神の卵
今のうちここで
割っておこう

!?
ん?

…なに？
いやー…なんでしょうねえ……
やっぱガキ殺すってのはちょっと…
三か月間ぼくの怖さをあれほど叩き込んであげたのに刃向えるとはね
見直したよ修行は完了だ
ど
どうも…

しかし真介くんだけを殺さないようにするのは
ちょっと難しい…かな？
ヌシ様!!
！
どうしたりんず？
いえあの！…
……
あ
千夜
逃げんぞ
だっ
何故また助ける!?
おれだって知るか!!

逃がすか！
ドドドドド
雷翔樹箭!!
ヌシ様だめっ!!
!?
りんず!?

うお!?
木!?
木が追って…
…速……
ゴゴゴゴ

…気付くとおれは
闇と人が暮らす村
に居た
月湖の村だ
千夜も
数日遅れて
目を覚ましたが
記憶を
失っていた

そのまま
フツーのガキに
してやりたかったが
…それも色々あって
ダメになっちまった

…山の神に逆らって出てきたんだ
もう灼岩の件はないだろうな
わりい
…仕方あるまい
私のことお気遣いなくっす
えへへ
…なんて言ってるさきっと
言うだろうな
…どの道 肚は決まってた
用はなくとも迅火にゃ会おうって
ま そんなカンジでフツーになりそこねた千夜とオマケ×2で旅してるところ
オマケ×2
黒龍に絡まれたりしつつか
そっちも大変だな

あー龍なー…
厄介なのに目ェ付けられちまったな
あれは
…千夜を倒すにゃうってつけだ

ひっ
ゴオ

うぐぐ

さらってきた方の娘が木の葉の幻術とはな…
なめたマネしやがる

娘は必ず
いただく
千夜も
ぶちのめして
喰う
腕に斬りかかって
きた剣士も
幻術のクソ狐も
ぶち殺す!!
覚えてろ
クソども!!
うぶぶぶ…
凄いやる気…!!
見てろよ千夜…
次はねーぞ
……!!

さて
おれはここで
お別れだ
状況が進んだら
式にて連絡をする

## 第42回 荒れ都の狂神

ああ
月湖なう
達者でな
お
お元気で
千夜
……
あまり無茶
するなよ
なう
はい
…
……？

…力ある者が
戦わないでいるのは
難しいぞ

でもそれが
人になるための
道のような
気がするので

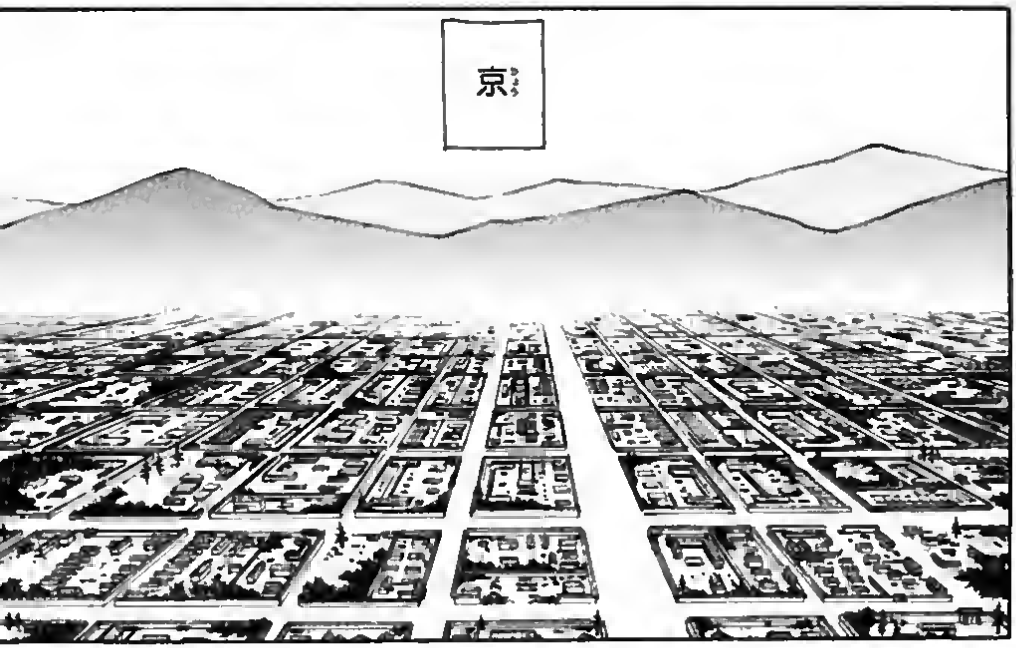
そうか
なれるといいな
人間に

居ましたほらムドさまあそこ!!
あっ!!
なんだァ一人か?クソ狐
あっ
まァいいテメーから血祭りだ
…ふん
龍のくせに品のない奴だな
ぬかせや!!

テメ…
ふはは!!
さらば!!

やべ
急ぐぞ
上等だ
テメェ!
山ごと
えぐってやる!!
ドゴォ
ズドン

# 第42回 荒れ都の狂神


京

…もっと荒れてるかと思ってたけど
結構人居るな
さすが都か

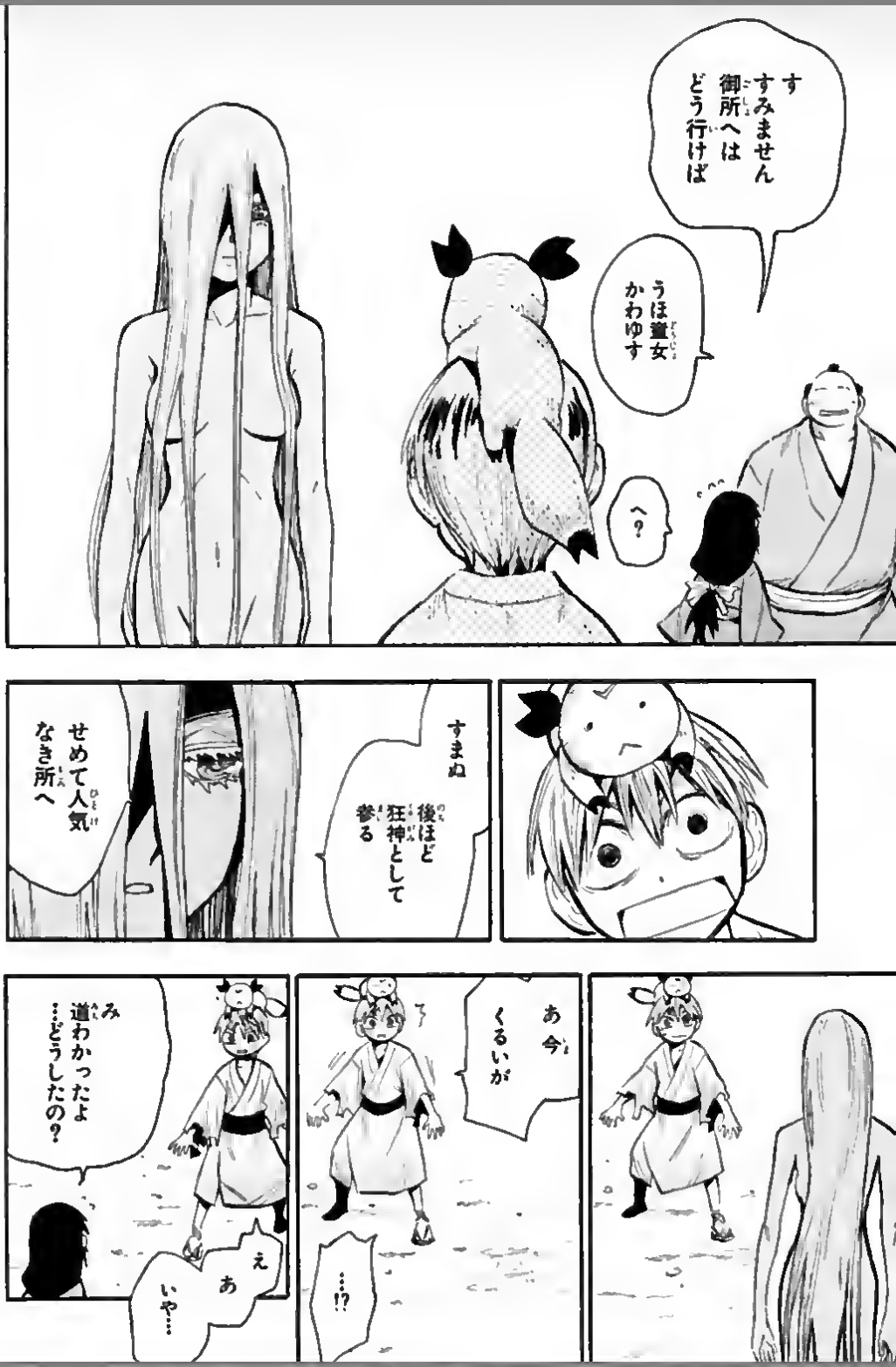
しゃれこうべなう
さわよな
…端々に独特の趣きはあるが

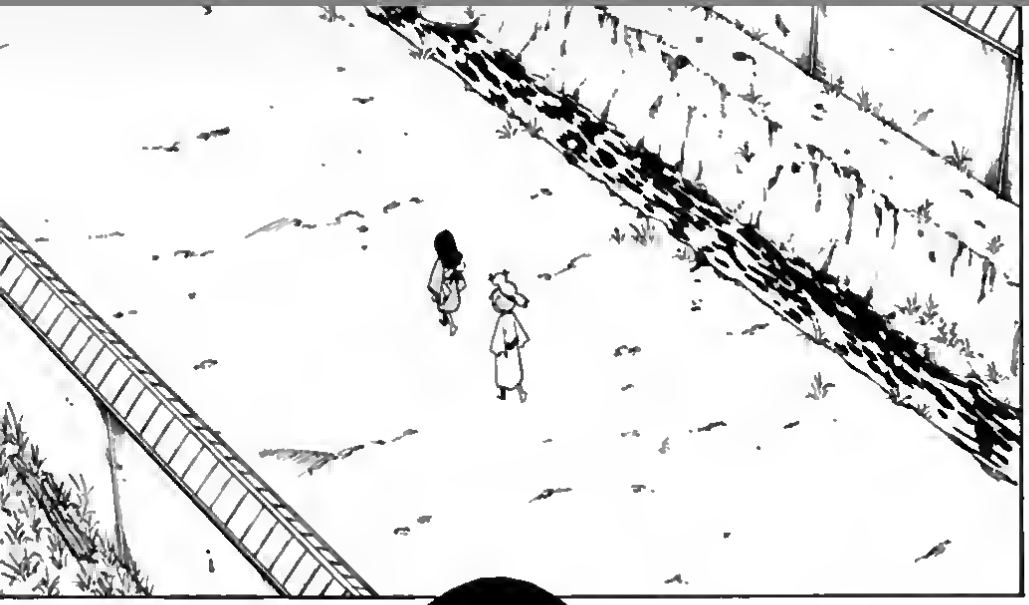
京は
魔都だ
瘴気が濃く
存在の希薄な
魑魅魍魎が
多い
キキ
もうりょう？
どうしたの
千夜？
あ
いや…
……
…手紙
ですか
茶

おう それを
二条御所って所に
居る雷堂斬蔵って
人に渡してくれ
はあ
まあ門番の人
とかに頼みや
いいから多分
しんすけは？
酒呑む
なう

ダメ大人
なう
にじょー
にじょー
ごしょって
なんだろう
…なう

御所には将軍が居られる
断怪衆たる我らは
政と関わってはならぬ
…御所は
将軍が居る所
き 来たこと
あるの？
聞けば
わかると
思う
ちょっと道
聞いてくるね
…わから
ない…
だんがい
しゅう？

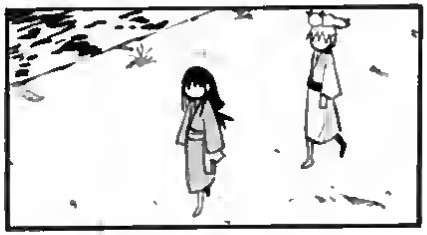

すみません
御所へは
どう行けば
うほ童女
かわゆす
へ？
すまぬ
後ほど
狂神として
参る
せめて人気
なき所へ
あ今
くるいが
…!?
え
あ
いや…
み
道わかったよ
…どうしたの？



千夜？
…なんか変

……

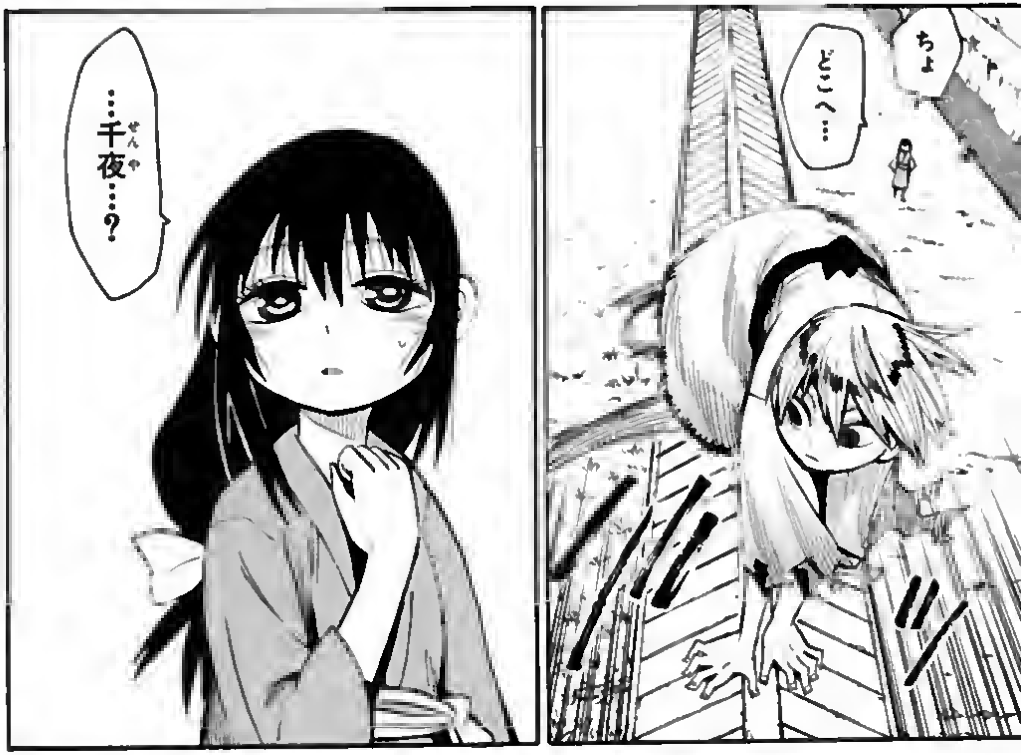
な
なんでもない
そう…？



ぴた

なう
月湖頼む
なう？
あとむやみに戦うなよ

さっきの奴かなう
わかったしんすけの所で落ち合うなう
頼む
任せろ
悪い月湖おれ用事！
ヤニっ
えっ何？


ちょ
どこへ…
…千夜…？

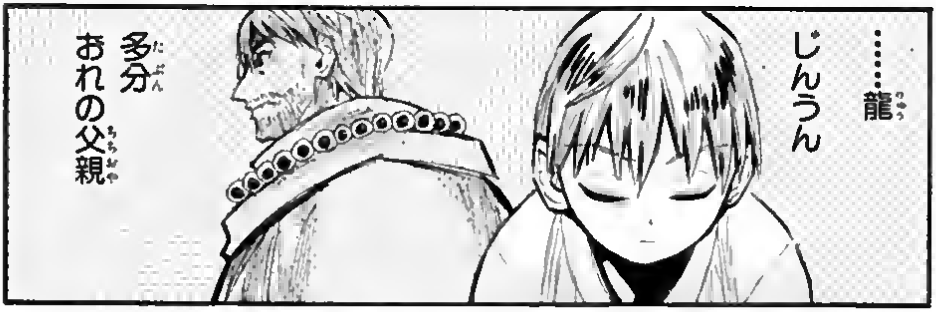
あの開の女…すごい霊気だった
土地神…!?

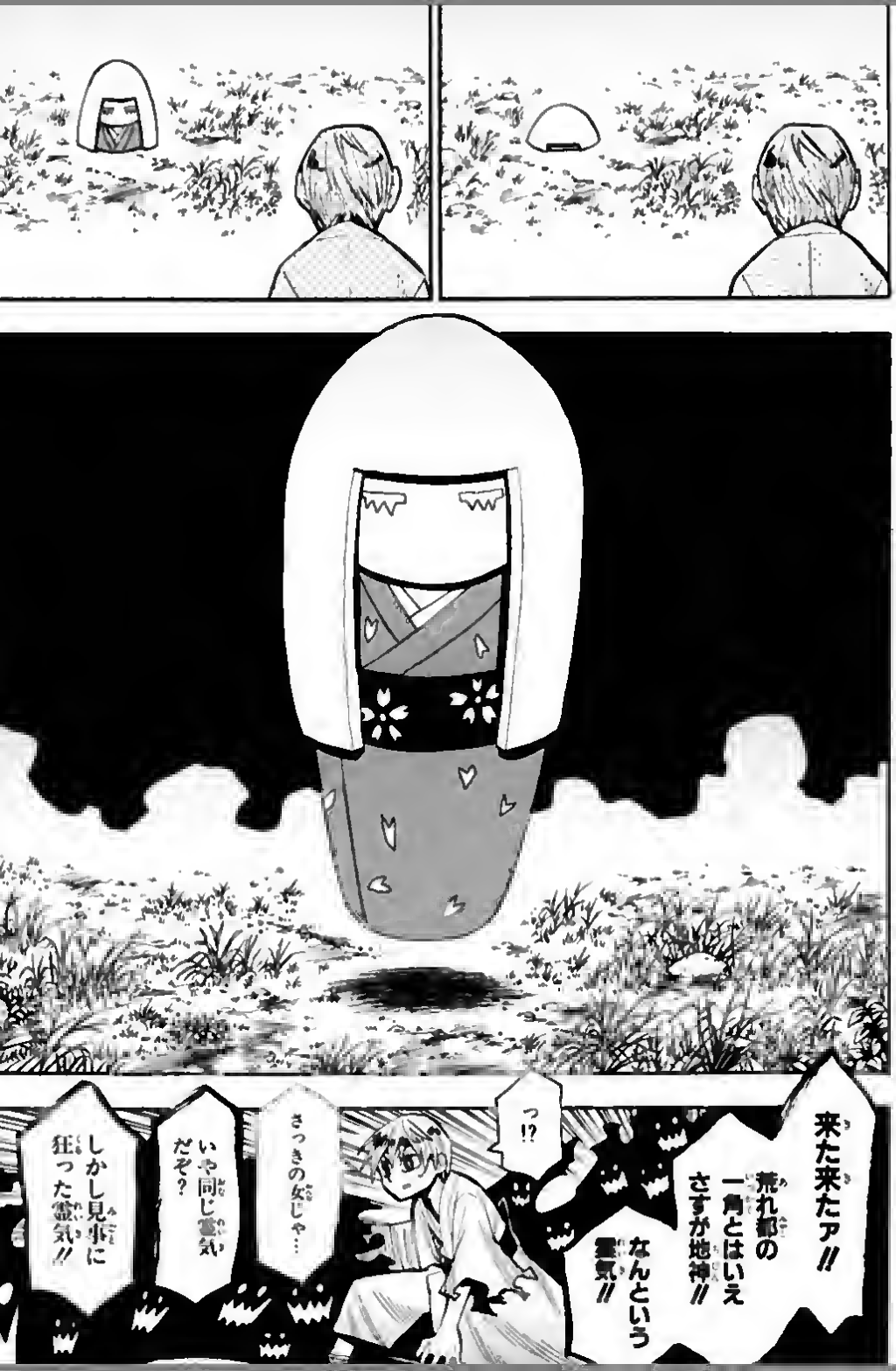
後ほど狂神として参る
狂神？ 何で正気を失ってるようには…
狂神が捜してたのは多分千夜だ
てめーの千の闇の力を喰いに来た
どの道狙われてるのはおれ一人
原因は多分千の闇達!!
そら見ろ!! 力が災いを呼んでいる!!
!
廃寺!!
後ほどというのがいつかはわからないけどまずはここで待つ!!
敵が来たら山奥に誘い込んで撤いてやる!!

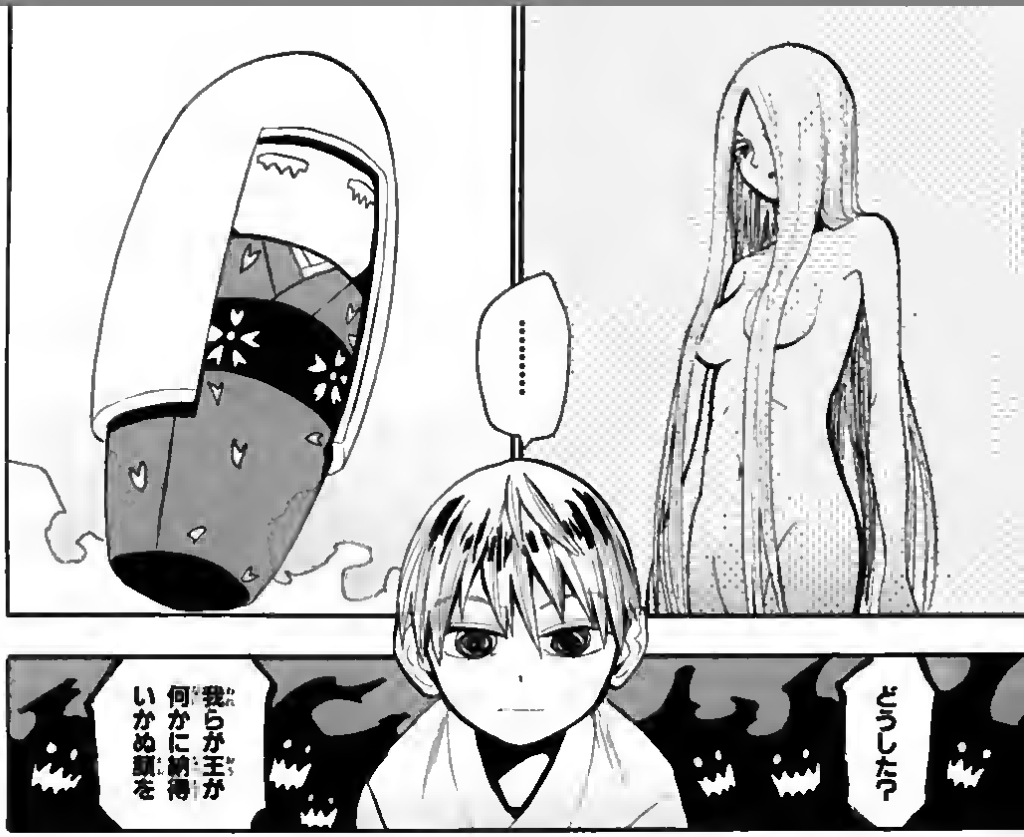
…

敵だ敵だ!!
狂神だと
くくく 腕が鳴る
千夜は逃げるつもりだぞ?
戦ってもらえぬかのう

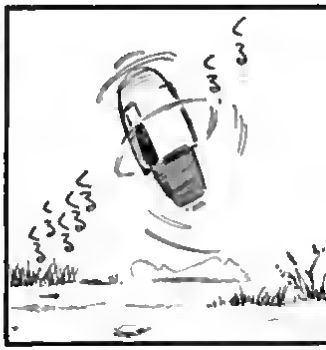
龍の時と違ってずいぶん威勢がいいな…
一体龍がなんだっていうんだ…


……龍
じんうん
多分おれの父親


来た来たァ!!
荒れ都の
一角とはいえ
さすが地神!!
なんという
霊気!!
っ!?
さっきの女じゃ…
いや同じ霊気
だぞ?
しかし見事に
狂った霊気!!


……
どうした？
我らが王が
何かに納得
いかぬ顔を

!!


くる
くる
くるくるくるくる

キュキュキュ
ーーン…

っと…
とにかく山へ…!!
ッ!
……
まさか
おれより速い…!?

いや全力で振り切ってやる…!!
ビキ
ビキ
ビキ
力を貸せ闇達…!!
この力のために起きる戦いなのに
戦わないためにこの力が要る…!!
この矛盾!!

はあ
はあ
茶
せ
せんせい
おう
手紙渡してきてくれた？
はーい
門番の人に…
そ
それより…
大丈夫か？
まア飲め
ぶふっ
あ
それ
酒
ごめっ
せ
せんせ…
ごほっ
ごほっ
せ…
千夜が…
？
どした

狂神…!?
そいつは確かに言ったなう
「後ほど狂神として参る」と
千夜はそいつを一人で引きつけるため行ったなう

しんすけせんせい!
はやく
千夜を助けて!
うわ
あたしじゃダメなの
おおい

あたしが守るって
戦いたくない
千夜も守るって
い言ったのに
あたしじゃ
よ弱い
から

力が
ないから
力が…
…欲しい…
銭置いてくから
なんか食って
待ってろ
おれか千夜が迎えに
来るまでここで
いい子にしてろよ
ヒュッ
はい…
なう

ガサガサ
バキバキ
ドシャーン
くっ
くそ
はぁはぁ
振り切れない…!!
…一体いつまで追ってくるんだ…!?
すー
パラパラ
もし倒さない限り永遠に追って来るとしたら…
ぶるぶる

パカ
!?
開い…
なんとほほえましい
猫とんぼとだとんぼが
どぶろくさを喰うておる
美味い美味いと
吐いておる
ﾌｯﾌｯ
昼間
会った…
中の人だった
のか

それにつけても
狭い海
いつまで寝てれば
くじら娘に追いつくのじゃ？
ハッ
似てる!!
あの時の
狂神と
逃げるとは
なんと勇敢
緑のむじな
血色のたぬき
湯注ぎ一晩
ドドド

!?
なんだ あの小さいの…
うおっ
ドドド

力ある者が戦わないでいることは難しいぞ

でもそれが人になるための道のような気がするので

おれはもう戦わない

あたしが千夜も守るから…!!

おれは人間になる!!

なれるわけがない

酒が米と水に分けられぬように

あたしが
弱いから
せっかく
キレイさっぱり
忘れちまった
んだ!!
これは人生
やり直せという
天の采配!!
千魔
混沌の
魔神の
卵
千夜
我らの力は
魔を祓う
ためにある
人の世のため
今より行くは
血の道だ
父ではない
師と呼べ
危機の時こそ
力を抜き
肉体の声に
身を任せよ

殺せ
たのむ
強き者
お前にしか
なぜそれを
おれに
なんで
おれが

！
千夜!!
ガンや
ナニっ
せ…

……
しんすけ

こりゃあ…

会ったのか!?
あの五人組に!?
……

……

あの五人
魂の
虚を
ぐみ
逆らえ
なんだ
突かれ…

戦わないって
おれ
決めてた
のに

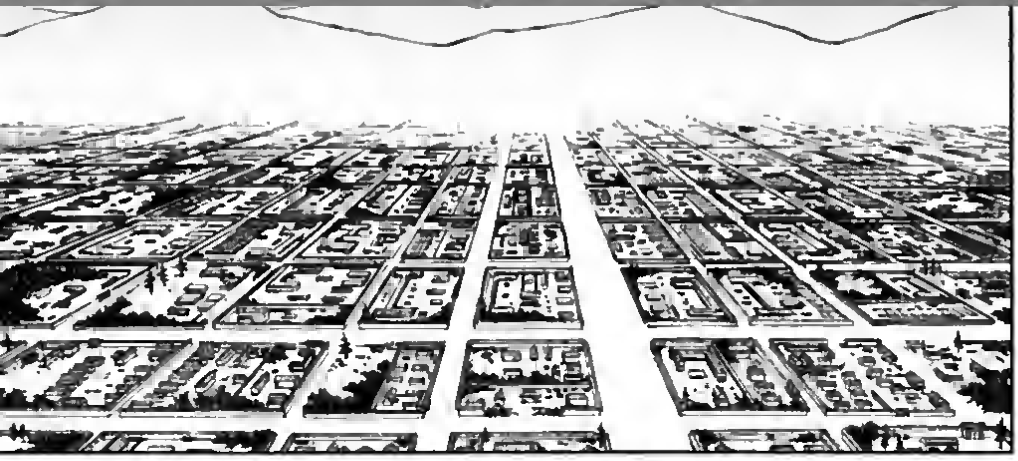
おれ
戦いたく
ないって
おれ…

生きてりゃ
いい
…生きてりゃ
それで…
行くぞ
月湖となうが
待ってる
…怪我
ないか？
あちこち
痛い
おぶる
か？
いい…

千夜
しんすけ
なう
月湖

……と
どちら
さまで…
……？
はっはっは

名乗りたいが
今回はもう
頁がない!!
来月号で
教えて
やろう!!
…!?



## 第43回 京の王

よーし ではついてまいれ
あの ちょっ…
誰？
はっはっは
宿の世話をしてやろう
つ 月湖
一体何が
ざっ

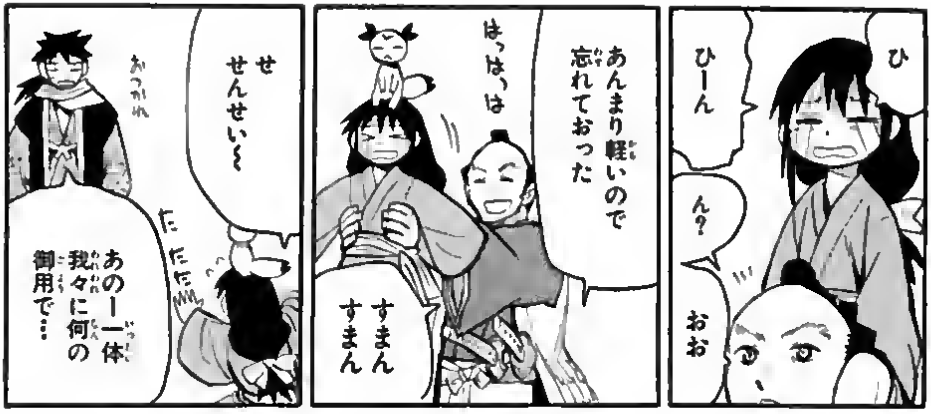
い いきなり現れて兵頭真介はどこかって…
ここの人が雷堂斬蔵さんじゃ…

いや 知らん人 ちょっ その子ら返して
はっはっは
まあまあ

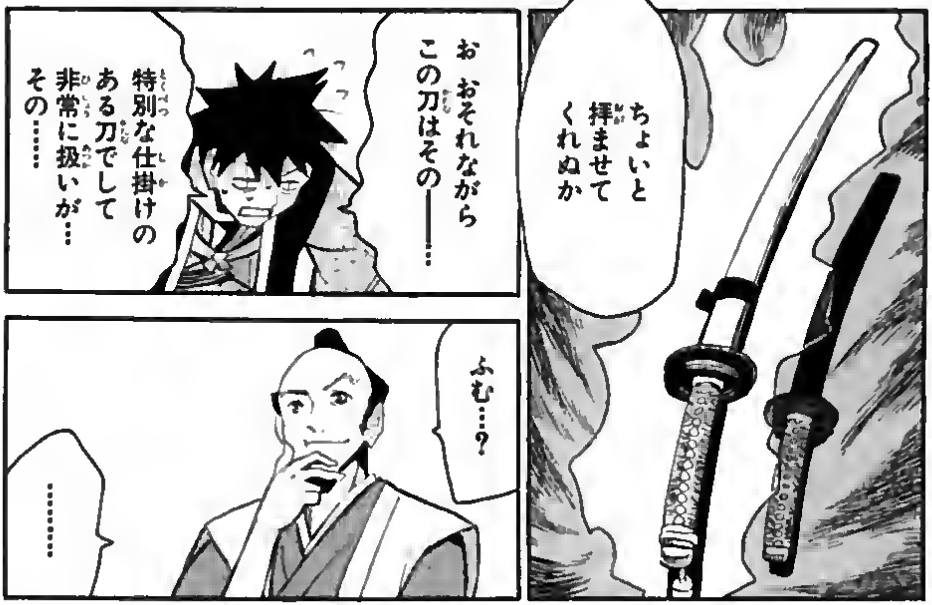
あの 聞いてます？
え？ てかここって…
ちょ
はっはっは
まあまあ
まあ

まあまあ
まあまあ
はっはっはっは
そうだな
わしのことは
テルさんと
呼(よ)べい

# 第43回 京の王


ひ
ひーん
ん？
おお
あんまり軽いので
忘れておった
はっはっは
すまんすまん
せ
せんせい～
おつかれ
ただただ
あのー一体
我々に何の
御用で…

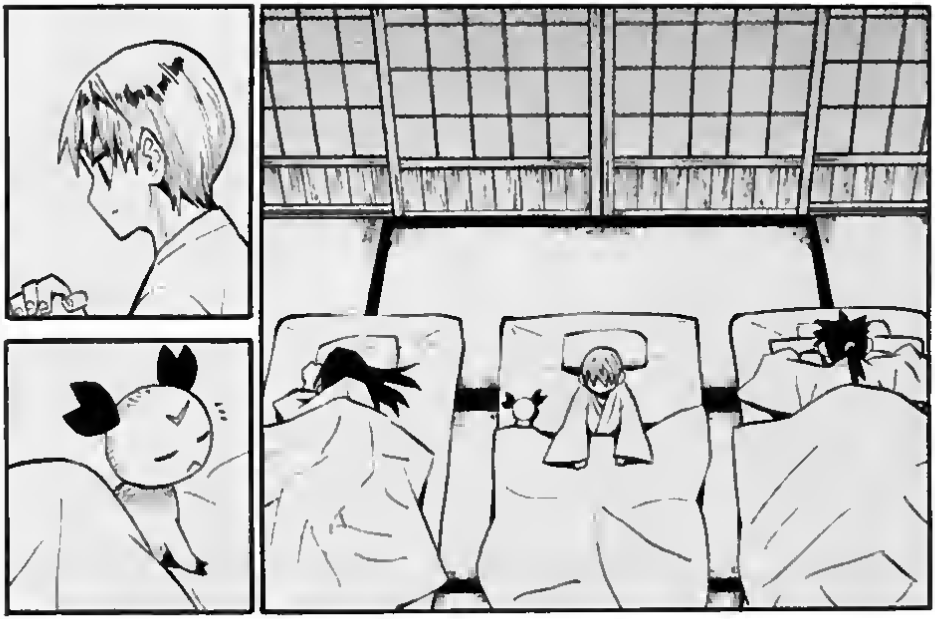
お主の
斬蔵宛ての文を
読んだのだが…
あっ
あん
文の内容にあった
雷堂家の宝刀
とやらに興味が
あってな
それだろう？

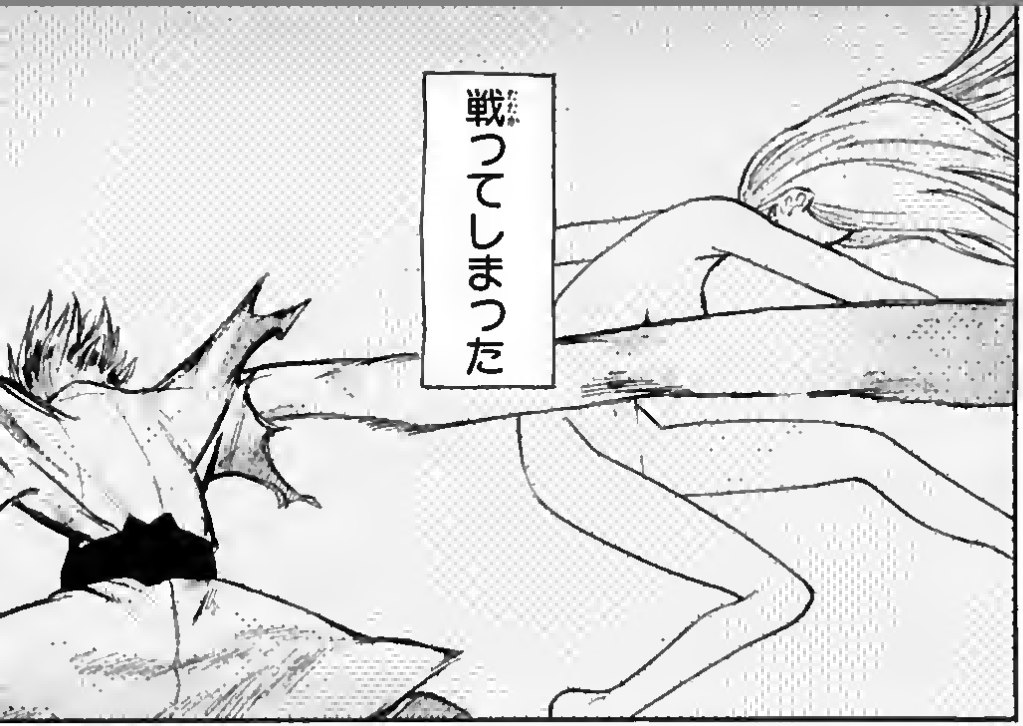

ちょいと
拝ませて
くれぬか
お おそれながら
この刀はその――…
特別な仕掛けの
ある刀でして
非常に扱いが…
その……
ふむ…？
……

ま
よかろう
皆疲れとるようだし
続きは後日だ
我が命で
出張中の斬蔵が
京に戻るまで
ここでゆっくり
してゆけ
えっ
出張中!?

リ
ろ
ぐ
ろ
なんだ
居ないのか…
ども
あとここにお世話に
なるの怖えーな
こちらへ

……




戦ってしまった

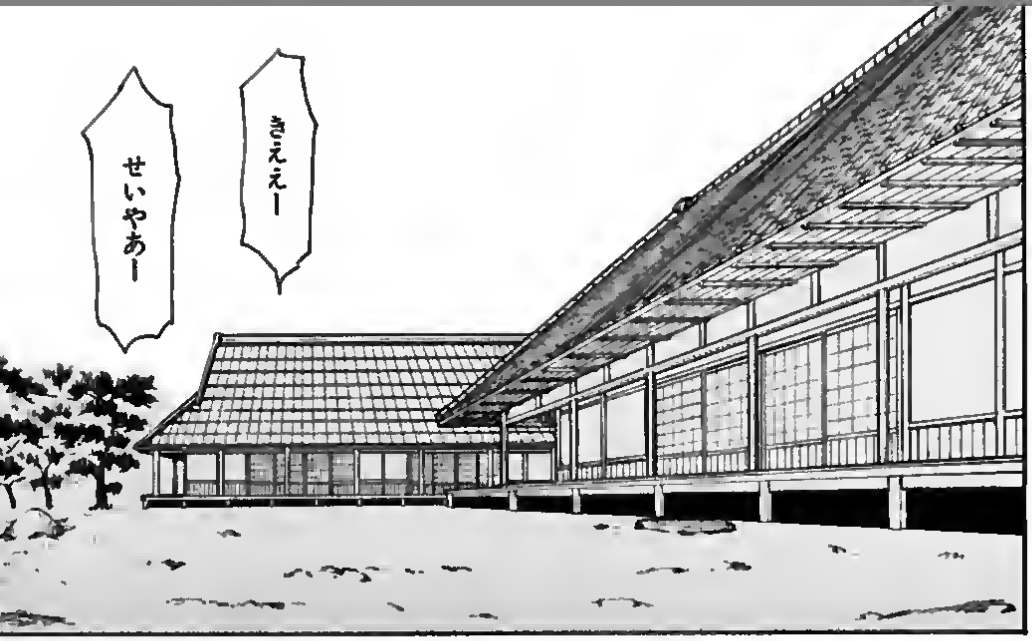
土地神の血は
土の匂いが
する
紅い泥

記憶はないのに
この身体は
敵の殺し方を
よく覚えている
おれは今まで
何をしてきた？

やめろ
思い出すな
いいじゃないか
過去なんか
忘れろ
忘れろ
忘れろ
忘れろ
忘れろ
忘れろ
忘れろ
忘れろ
忘れろ
忘れろ
忘れろ
忘れろ
ギシ
白い
でかい人
じん…うん？
なんで
いや
ギシ
びくっ
うお

見よ
どうか？
天
すごく…
鳥です…
テルさん
かっけー

そうかそうか
はっはっは
はっはっは
はっはっは
……えっ？
……!?
どちらへ？
かっけー


きえええー
せいやあー

ううー…
朝から何の騒ぎだ？
ヘンな夢見た…

あどもっす
何の騒ぎすか
おはようございます
公方様の朝稽古ですわ
み見たい!!
はあああ——ッ!!

まいり
まし…
…た
んなっ…
お
やっと起きたか
寝惚助どもめ
はっはっは
な なんすか
これ…

これは撓といってな
上泉伊勢の守が考案した…
あいやその
ここに倒れてらっしゃる皆さんは…
大人数に囲まれた状況を想定した稽古だ
結論 勝てる!!
サラサラ
か・て・る・と
はっはっは
すごい……
偉いのに強いんだ…
真介もかかって来ぬか?少しはできると見た
えっ
せ せんせい…
そんな目で見るな……
しからば!!

ん？
おっとすまぬ
加減を
誤った
……

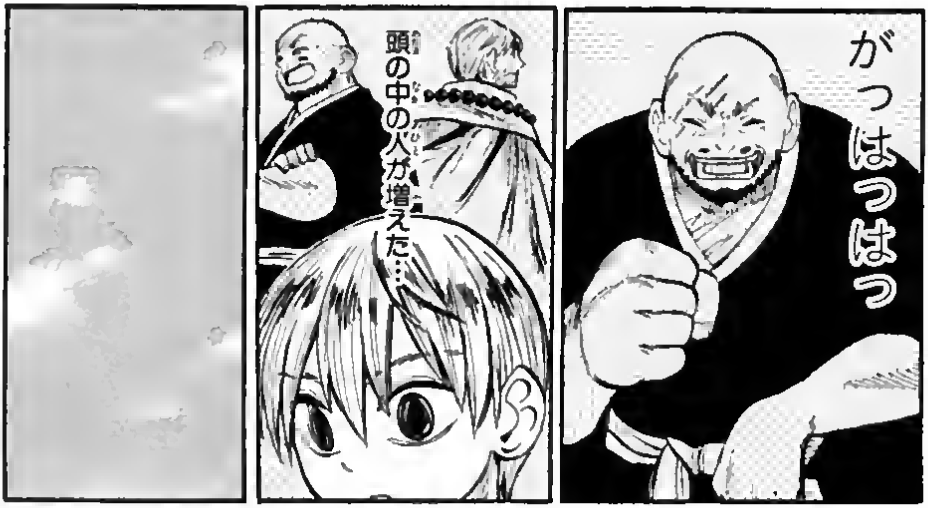
せんせい…
そんな目で
見るな…
へっぽこ
せんべい
ああ

公方様の
前では全て
児戯だ
落ち込むな
客人
いや……
へへ

剣聖
足利義輝公

貴人にして武神
は、
は、
は、
は、
は、
は、
は、
…我らの憧れだ

武

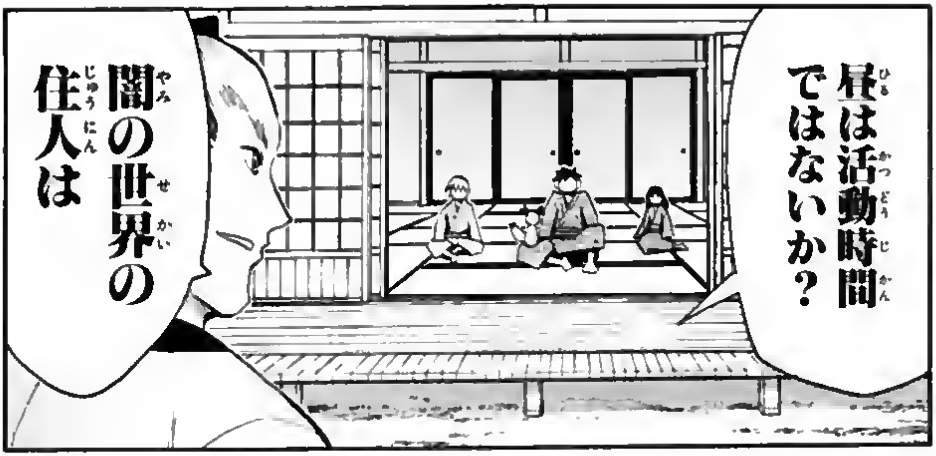

がっはっはっ
頭の中の人が増えた…

だら

…そういえば
せんせいが剣の
稽古してるとこ
見たことないです
してねえ
もの
へっぽこ
せんべい
なう
なうー
せんべいは
よせよ

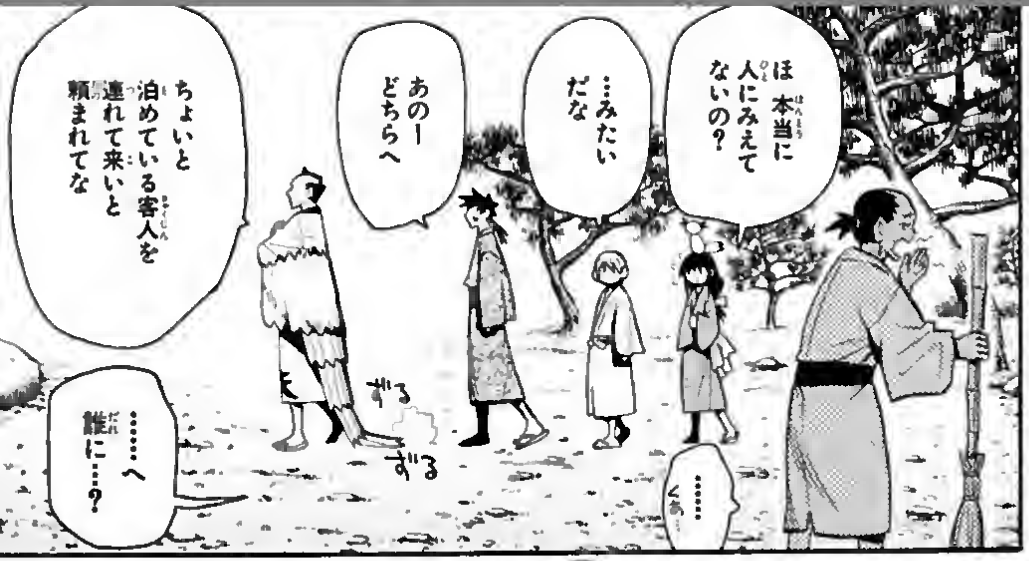
せんべいに
失礼だろ
ガク
あ あたしはせんせいを
見限りませんから!!
…お前
どの立場で
しゃべってん
の?
へっぽこ…
へっぽこ…
まんじゅう
?

はっはっはっは!!
びくっ
うわっ
何(なに)?
ガバッ
鳥(とり)!?
テルさん
おっす
なう
えっ
すっ
おっす
なう
その方(ほう)ら
はっはっは
たるみきって
おるな!!
にやり
それとも


昼は活動時間ではないか？
闇の世界の住人は

!!
……
何を驚いておる
知られてないと思ったか？
小っこい闇を連れ
霊気だだ漏れの刀を携えてきておいて

皆これを丸めて飲め
隠形符!?
ついてまいれ
ばさあ


ほ 本当に人にみえないの？
…みたいだな
あのー どちらへ
ちょいと泊めている客人を連れて来いと頼まれてな
……
ざる
ざる
……へ誰に…？

庭石…？
まあ見ておれ
華寅
4名と一匹案内頼む

!!
紹介しよう
我が友

京の大土地神

華寅（はなとら）
ごきげんよう
似てる…
白い子 あなたね
狂神と化した
私の分霊を
止めてくれたのは…

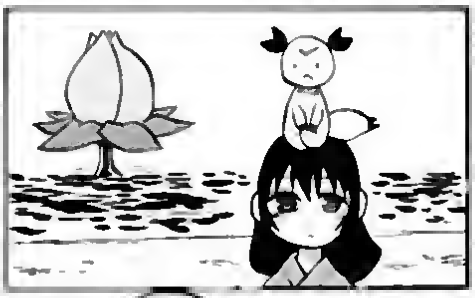
ご苦労でした
幼き白き花
あなたが
心を痛めているのは
伝わっています
どうか
自分を
責めないで
…それを
伝えたかった
分霊…
五人組が
神を狂わせる…
もし本体の方が
狂神になっていたら
ごくり
まさか分霊とはいえ
神殺しを
やってのける程の
者とは
闇の住人にしても
…特にその白童子は
只者ではないと
思ってはいたが

驚いたのは
こっちです

まさか将軍が
闇の世界に
通じているとは

斬蔵のおっさんは
義輝公に闇の世界の
剣を見せたくない
からって おれに
荒吹を預けたのに

あやつは
わしを
神聖視
しすぎ



つい500年前は

為政者が率先して
霊力合戦を
おおっぴらに
しておったくせに

すっぽんぽん

あ
小さい
分霊

しゃべり方が
違う？

闇の世界の力は
人が扱うには
大きすぎる
力は
争いの種
力は…悪だ
闇の世界と
表の世界を
分けたがる
人の気持ち
おれには
わかる
千夜…
……
そうかのう？
闇の世界の力が無くとも
人は争えるぞ？
現に今 霊力なくとも
矢が飛び交っておる
もっと前は
石を持ってた
な
トッ

戦いこそが人なのか？

この力さえ無ければ争いから遠ざかれば人に近付けると思ったのに

おれは人にはなれないのか!?

んなこと言っておらぬが

戦いも人の営みの一部だ

……

白童子 お主人になりたいのか？

人にしか見えぬが

闇？

おれはバケモノです

御前は人だ
ただの力持ち

せ

千体の闇を
埋め込まれ
自在にバケモノに
変われるこの身
もはや
人では

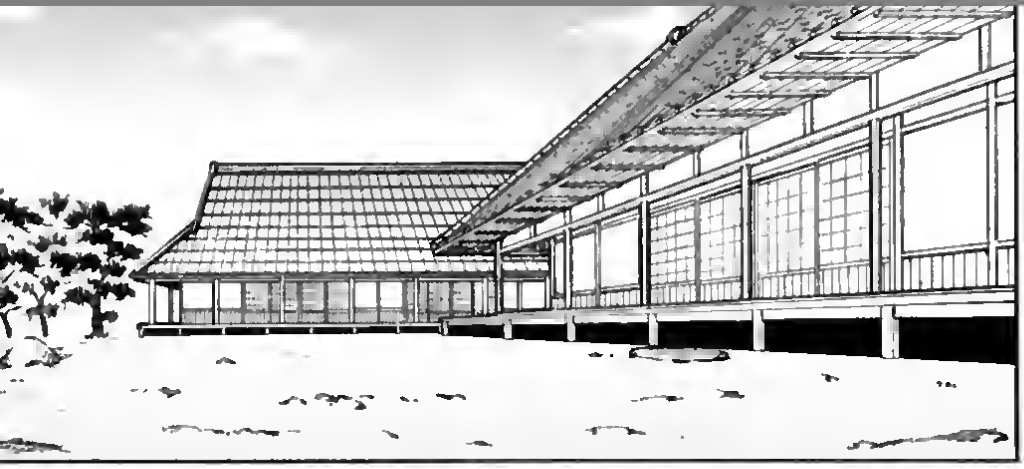
千体の闇を
埋め込まれ
自在にバケモノに
変われる体質の
人であろう

何を言って
おるのだ?
あとその腕
かっこいいのう

察するに
お主の本当の
望みは
人とか闇とか
力の有無では
なく
争い無き
ことでは？
……!!
そ それは
どうしたら…

？
知らぬ
が？

……!!
？
…何を
そろって
大口開けて
おる
変わった連中
じゃのう



……将軍様って

なんか…すごい…

そうだな

凄いお方だ

御前は人だ

ただの力持ち

…あれは本当はおれが言ってやらなきゃいけなかったことなのに…

おれは闇に慣れすぎて人と闇の境目がわからなくなってるのか？

…千夜となうは？

屋根

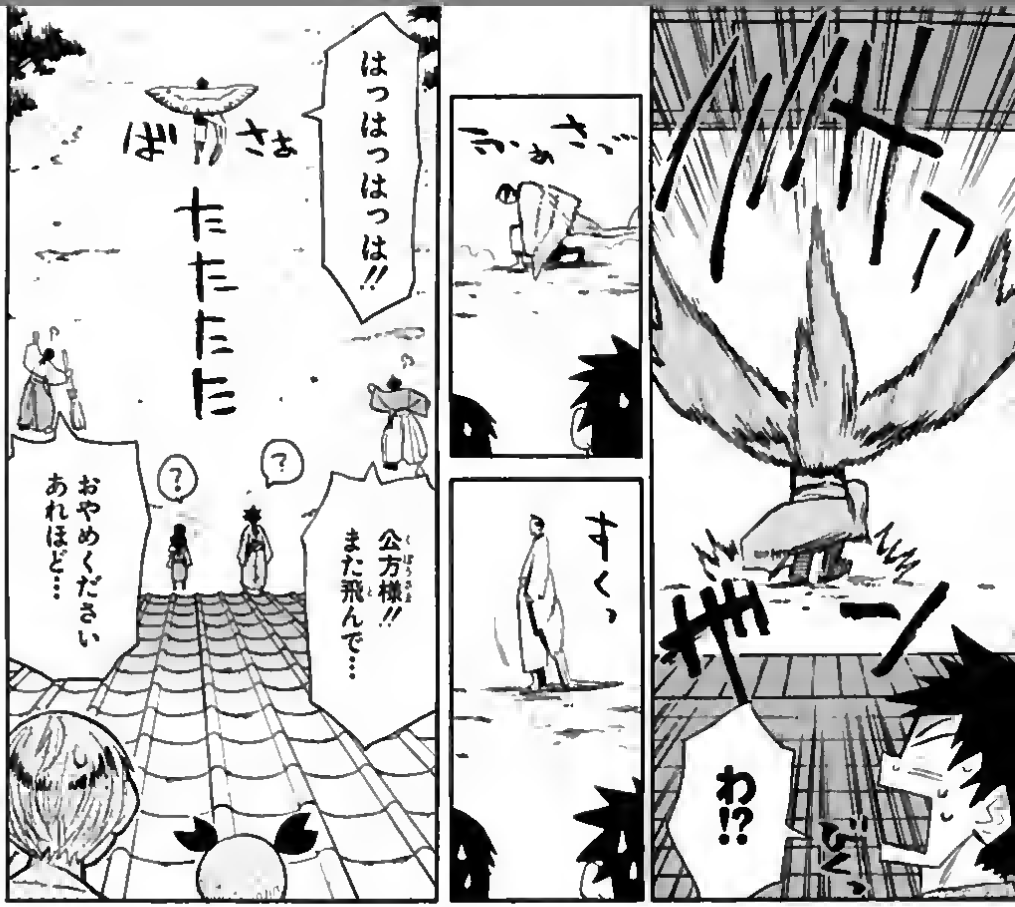
…あのさ 華寅さん
ついてくるのはいいけど
なんか着て
くんねえ？
は？
嫉じゃが？

そうか…
おれもう
何がなんだか
よくわからない
ふーん

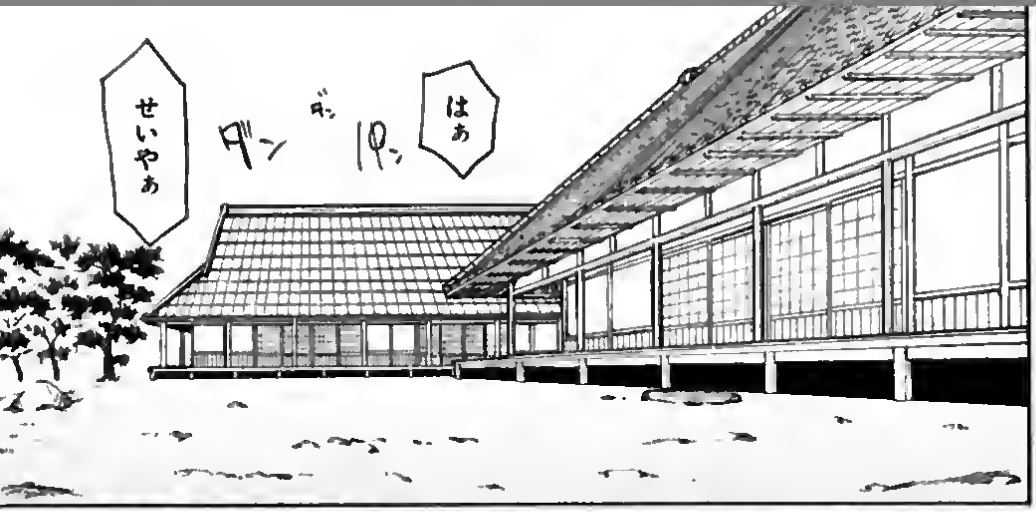
…なうは何か
思い出したり
しそうになったり
しないか？
なるけど
気にしねー

白童子よ
誰しも
なりたいもの
はある!!
ガシャ
テルさん
おっすなう
ガシャ
あ
はっはっはっは
ガシャ

わしにもあるぞ!!
鳥だ
鳥のように
……自由に…
いやいや「○○のように」ではなく
そのものズバリTO・RI!!
見ておれ!!
は?
え?
何…
はっはっはっは
ガーン


ザーン
わ!?
すくっ
さぁ
はっはっはっは!!
ぱたたたた
公方様!!
また飛んで…
おやめください
あれほど…
?
?

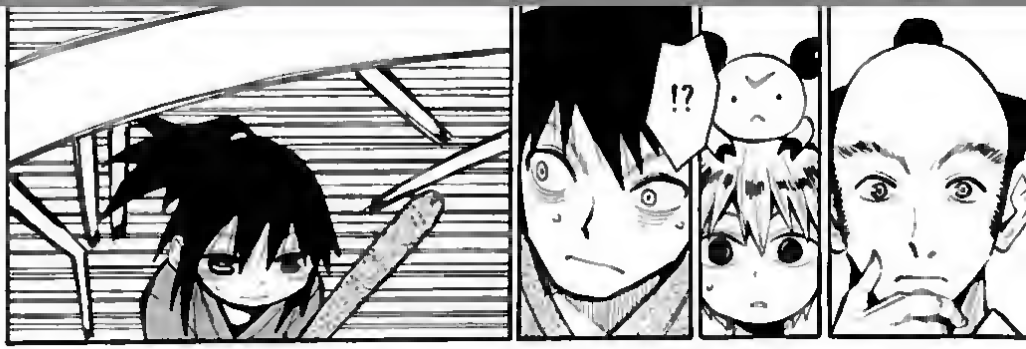
変わった人だ
かっけー
室町幕府13代将軍
足利義輝。
変わった人…
変わった人だ

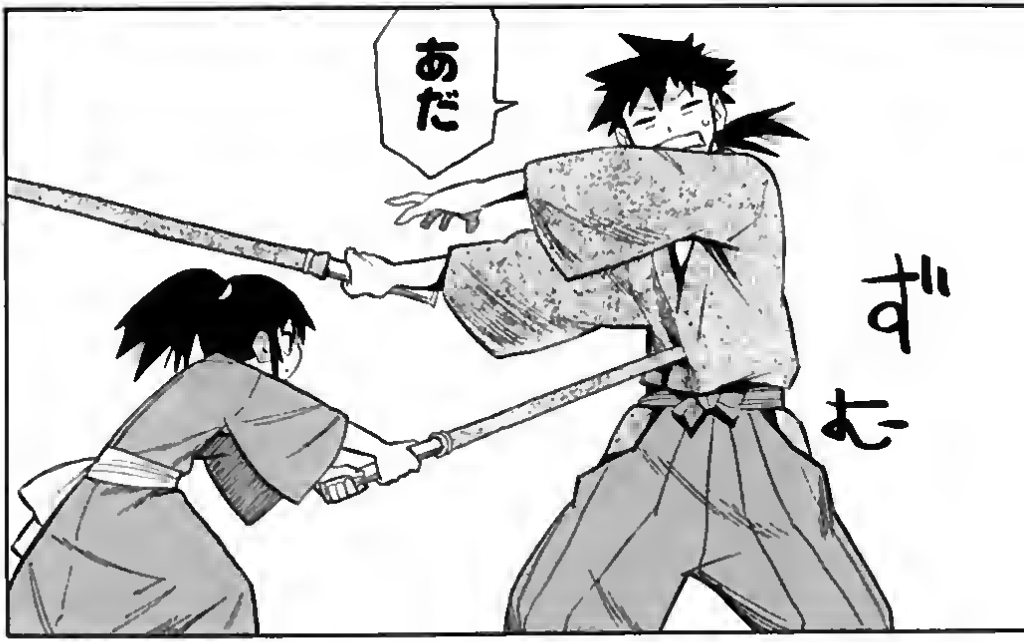



## 第44回 千夜と月淵

ぐっ…!!
ふ――ッ!!
一本!!
それまでだ
次は おれが
え――
ざわ
まだ
やるん
ですか?
いや
それがしが
やるな
客人
ざわ
もう
4人抜き
だぞ
真介殿と
いったか?
ふーむ
では
次は…
は
はいっ
やっ やりたいです
あたっ
あたし
えっ

ははは
いやさすがに
ムリであろう
だ
大丈夫
です
あ あたし
しんすけ
せんせいの
弟子です
て
どさくさに
まぎれて…
よいでは
ないか
はっはっは
やってみよ
怪我させる
なよ
おまえ
なー
お
おねがいしますっ
はじめっ
す、


!?


あだ
ずむ

おおおお!?
見たか今の？
剣が来る前に
かわしていたぞ
手加減
したのでは？
いや あの
動きは…
真介殿
しっかりされよ!!

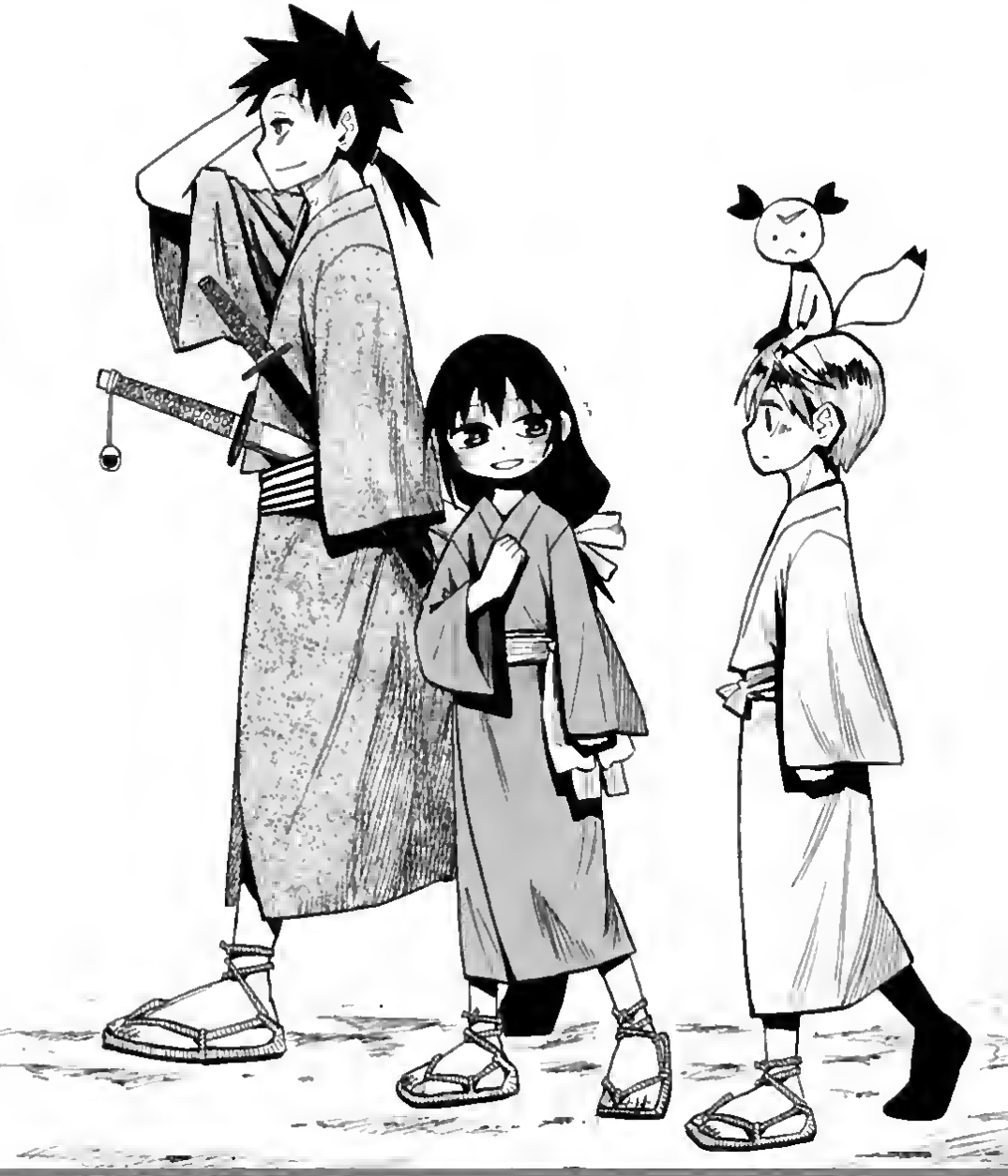
ぽつーん

白童子 見よ
あやつらを
先程 撲で
打ち合った者
同士がそれを
通じて認め合い
打ち解けている

世の戦いも
あのように遊びに
してしまえればのう

戦いを
遊びに…!?

# 第44回 千夜と月湖



実際の戦は国単位の命と土地と財産の奪い合いじゃ

そんなこと囲碁や将棋で決められまい？

遊びで「戦ごっこ」をするまでは可能じゃがな

……

で なんで埋まってんだなう

落ちつくから

人目に付くこと
やめてくんねえかな
華寅さん

お前ら以外
には見えぬよう
施してある

無関係者や
霊力無き者には
美しすぎる妾の
姿は少々目の毒
じゃからな

ああ
そう…

トントン

お客人

はい？

ほら大丈夫よ

で でも…

ふふ
かわいいわよ

ほら そんな顔
しないの

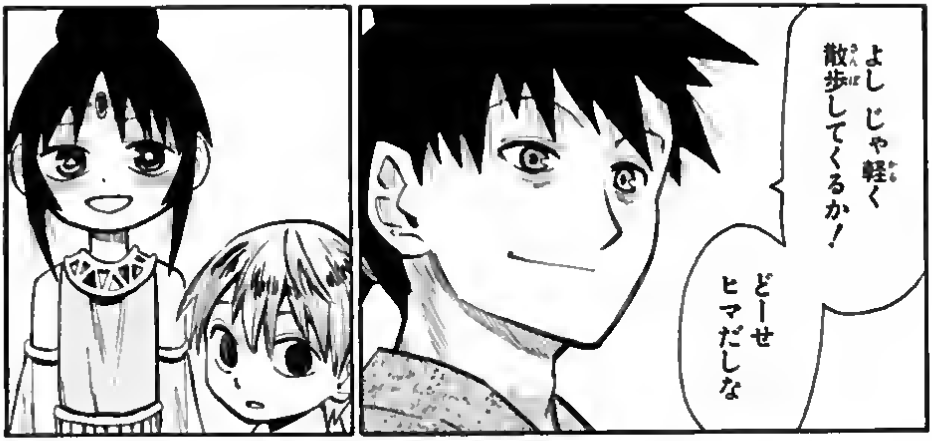
うー

南蛮渡来の
お姫さまの
珍しい着物よ

お!?
お
ほー!!
へ
う
変じゃないですか?
変じゃないって
ほらあの子なんか顔まっかにしちゃって

あの これ すげえ貴重な物なんじゃ…
公方様のご指示で 攫れる者が居るなら 攫せろと
なんならこの格好で 町を散策してきても よいとのことです
では失礼しました
月湖ちゃん またね
ど
どもでした
しかし さすがに 町まではなあ…
よいではないか
女は花
花は見られ 愛でられてこそだ

のう月湖？
よく似合う
とるぞ
もっと広い所で
咲きたかろう？
だから
あんたは何か
着ろよ
はぁ…
はぁ…
あとなに
そのムダな
大ゴマと
ポーズ
……
…月湖？
ふーむ
…なんでも
ない


よし じゃ軽く
散歩してくるか！
どーせ
ヒマだしな

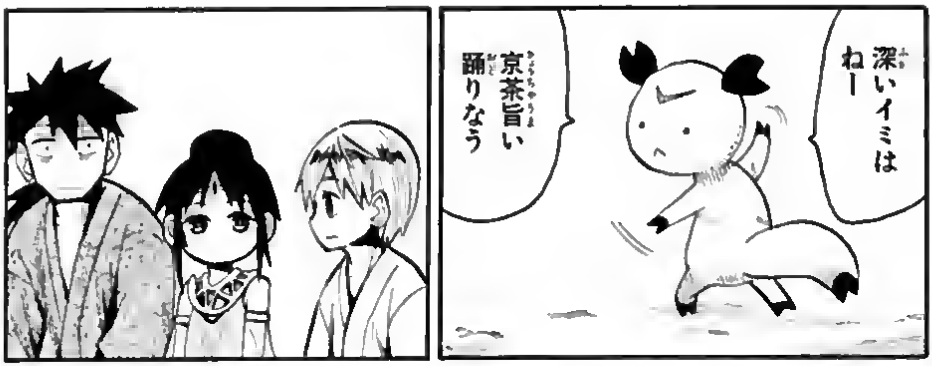
はっはっは!!
うわあ!?
うむよく似合っている
ぞ月湖よ
剣才もあり華もある
きっと良い女になる
けっ
剣才!!
あありますか

あるとも
真介の下で
よく励め
やがて一人前の
女剣士と
なった暁には
わしと撓で
本気で遊ぼうぞ
ナナア
はいっ!!
では今日はゆっくり
楽しむがいい!!
さらば
だっ!!
はっ はっ
はっ
はっ
なにしに
来たのやら
せんせい あたし
剣才あるって
えへへ
確かに…
弟子じゃ
ないのに…
まーともかく
出掛けっか

よろしくな
月湖姫
今日のおれと千夜は
姫の付き人兄弟だ

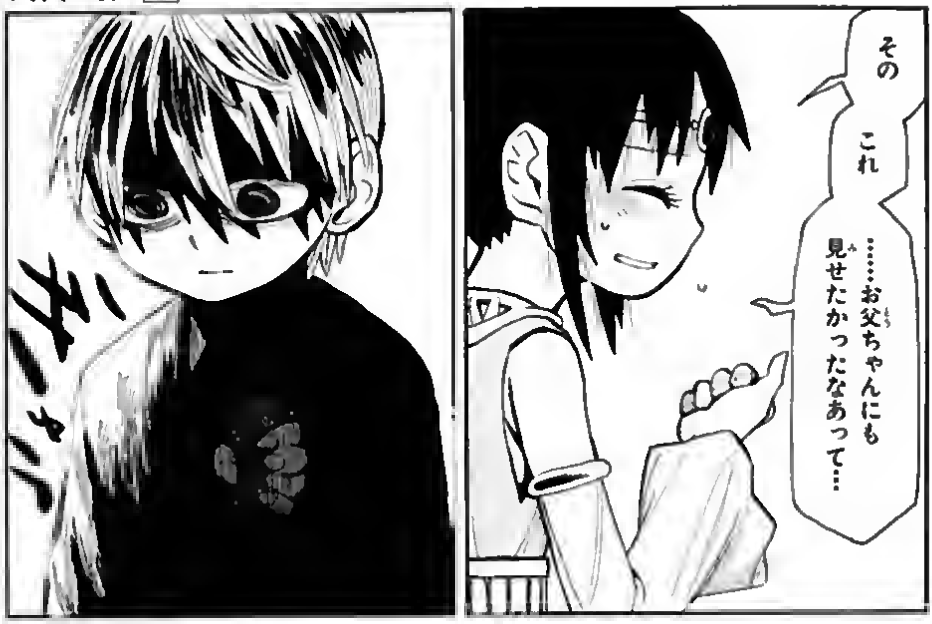
っ 月湖姫…
兄弟…
護衛なう
ぴし

茶
そーいや義経公は
なんで付き人もなしに
町をウロついてたん
だろ…
むむ
すた
なんだ？
どうしたの
なう？


深いイミはねー
京茶旨い踊りなう

……

月湖…
また着物見て変な顔なう
…あ
うん…


その
これ
……お父ちゃんにも
見せたかったなあって…
ハッ

千夜
月湖
おれ
…謝って済む
ことじゃ
ないけど…

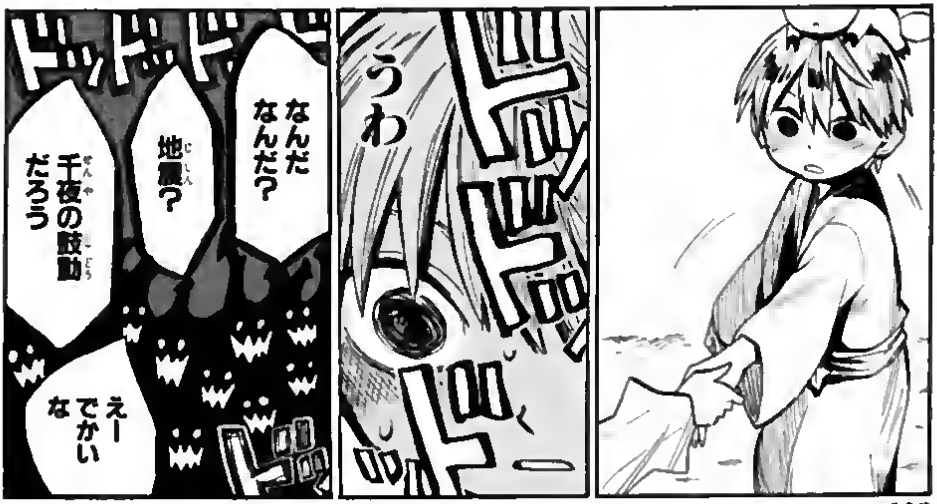
あたしの村を
守ってくれて
ありがとう
お礼
ずっと言え
なくてごめん
違う
おれが
居たから
狂神が
村も
おじさんも
おれも
千夜は
悪くないよ
千夜の力も
悪くない

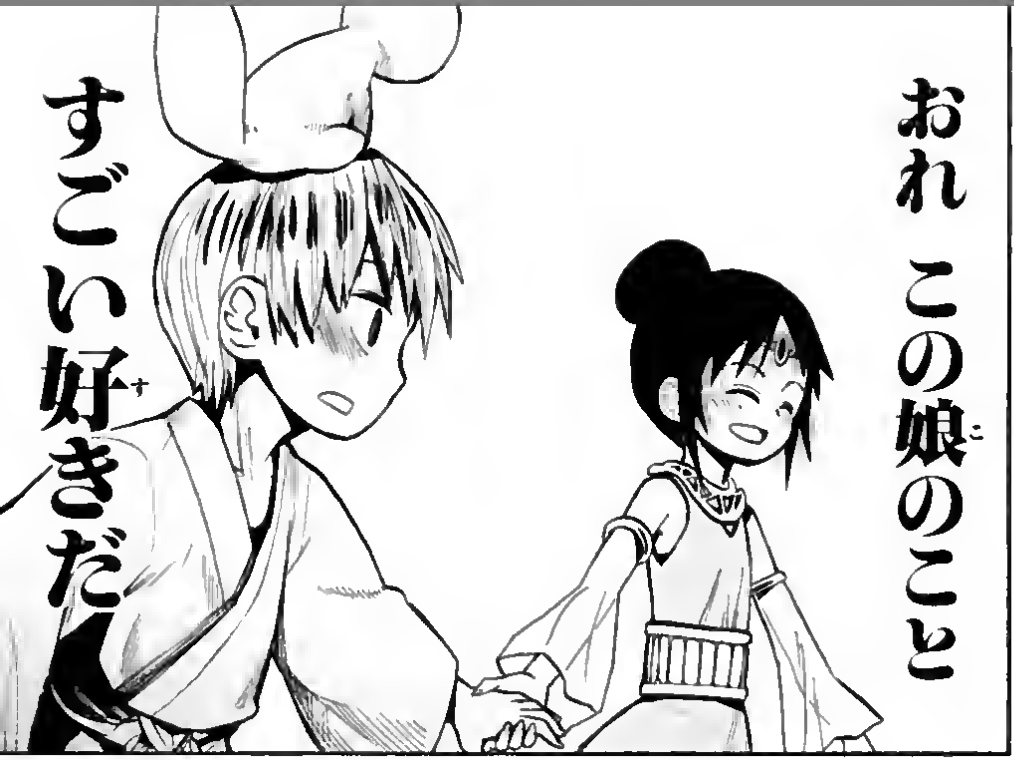
だって
あたしは
知ってるから
千夜は
いい子だって

いっ
いい子
いい子?
いい子だって
確かに邪心というか
もう少し覇気が
欲しいな
いい子——?

おれなんか
ずっと何かを憎んで
生きてきたっ
つーのに
こいつらときたら
年端もいかねえくせに
他者を全く責めねえ
やっぱおれ
本当ダメ人間

早く帰ろ
着慣れない
着物だから
疲れちゃった
えへへ

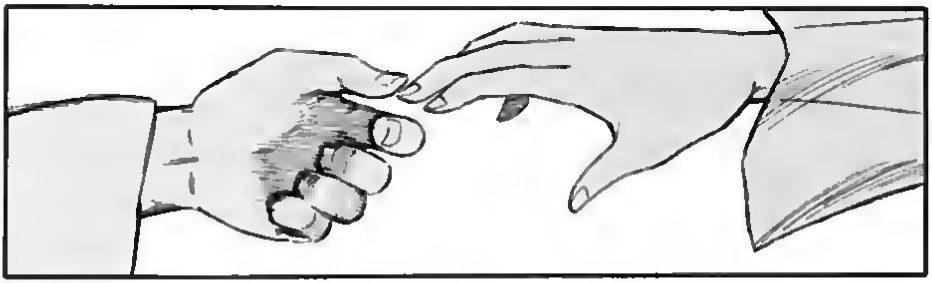

なんだ
なんだ?
地震?
千夜の鼓動
だろう
えー
でかい
な
うわ

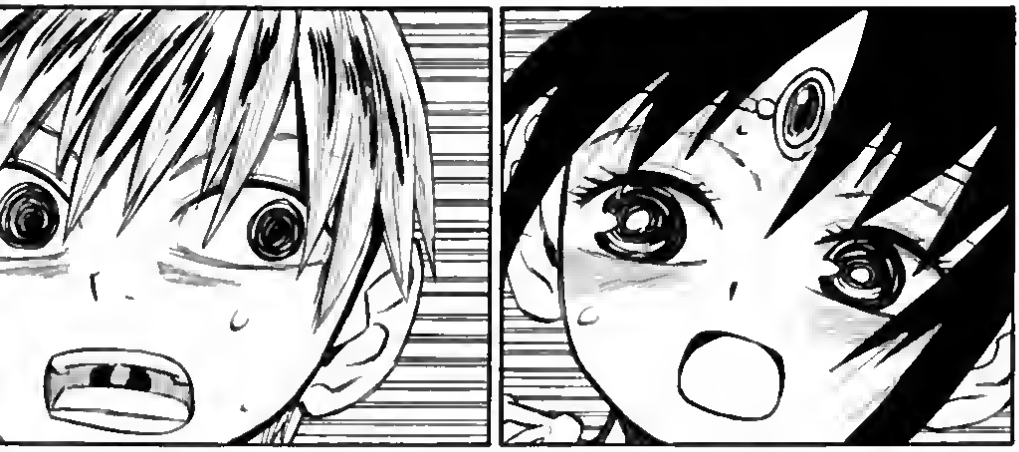

おれ この娘のこと
すごい好きだ

でも一生
言えない
月湖が許しても
おれはおれを
許しちゃいけない
おれが月湖の
お父さんを
殺したんだ

忘れるな
おれ
ヒュー…

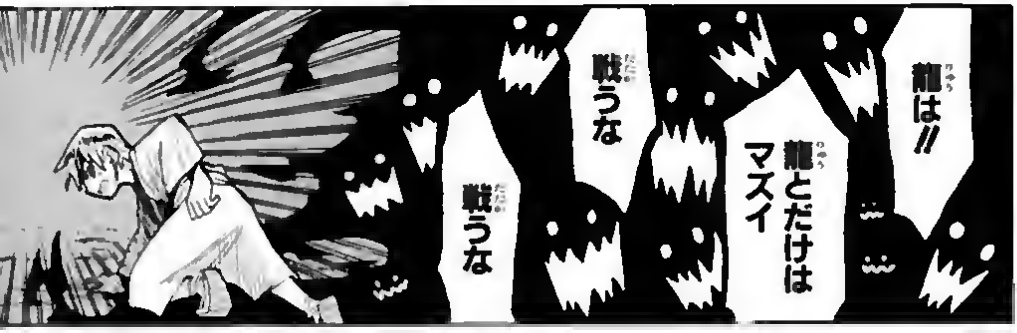
んな
ばーか





荒
吹ッ…!!
ム…
ムド!!
よォ…
タゴの奴の情報は確かだったな
京に来てやがったとは
月湖を離せ!!

……!?
力が入らな…!?


龍は!!
龍とだけはマズイ
戦うな
戦うな

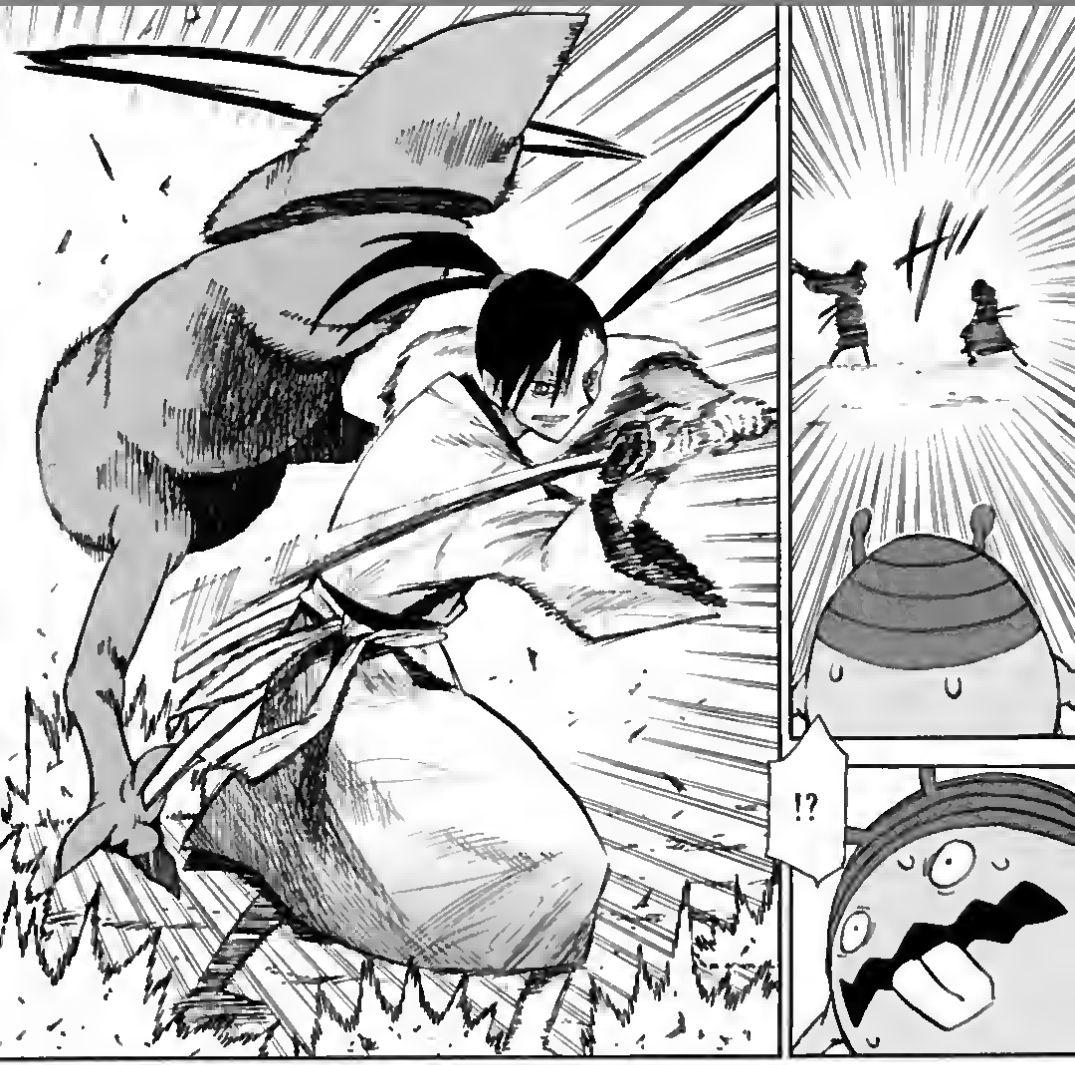
慌てんなよ
今回の目的は娘に絞った
てめーらの相手は「作戦その2」だ

あばよ
ペキ
ペキ

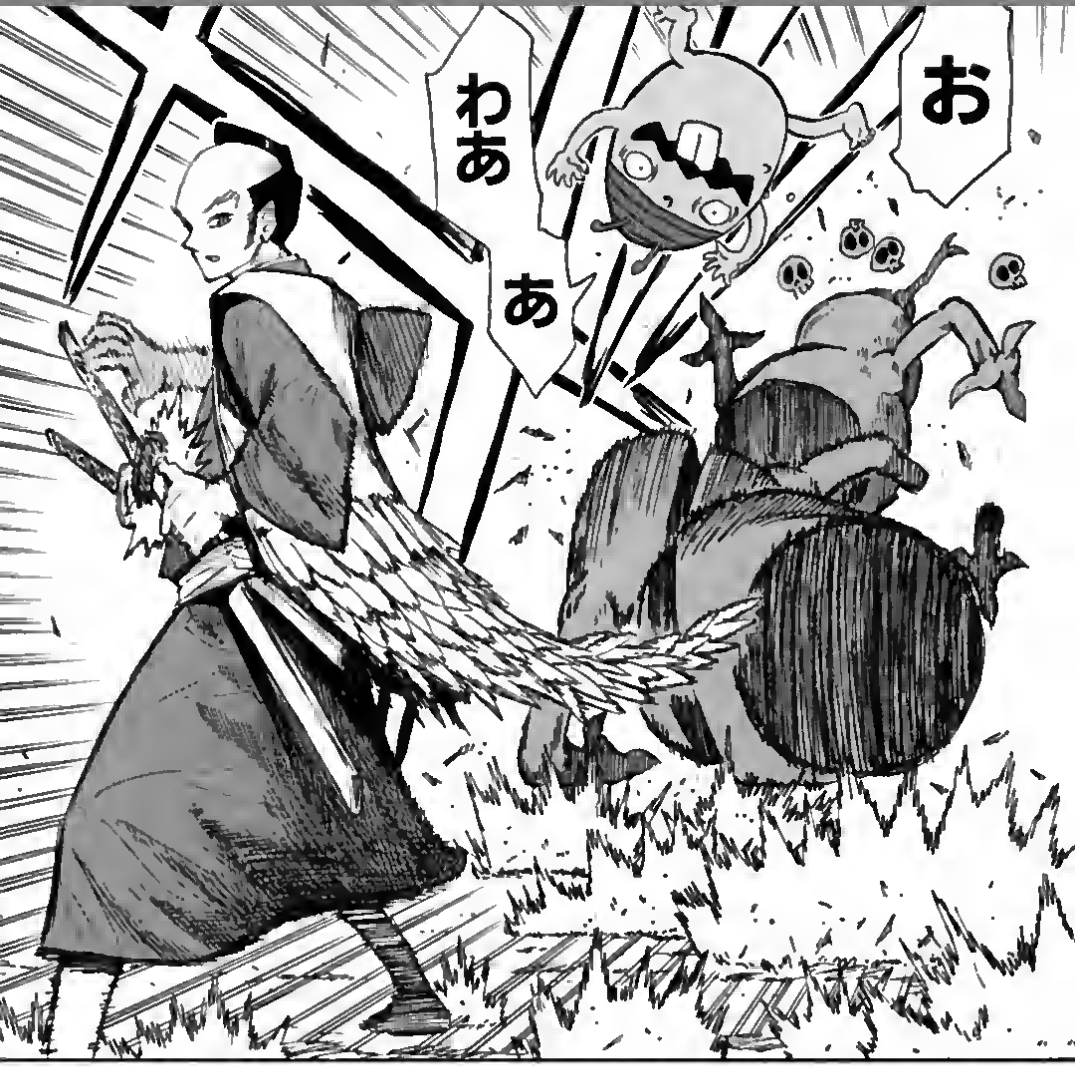
千夜!!
月湖!!
タゴォ
足止め
しとけ!!
ははは!!
月ッ…

ほらあれ!!
あいつらがお前の祠を壊した奴らだぞ
ホントは壊したのおれだけどな
うおお——ん
許さねー!!
よくもおでの自作のドクロ塚を——!!
!!

くっくっくっ
喰ってやる——!!
ドー
クロー!!
!!
やべ
剣が…!!
バキッ

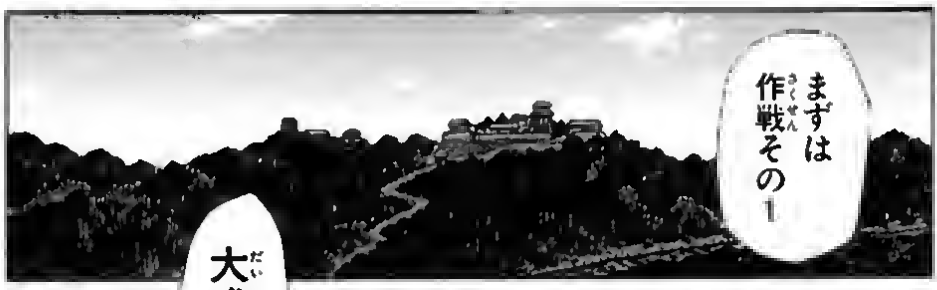

!?

義師公!!
と…
斬蔵のおっさん!?
よっ


お
わあ
あ

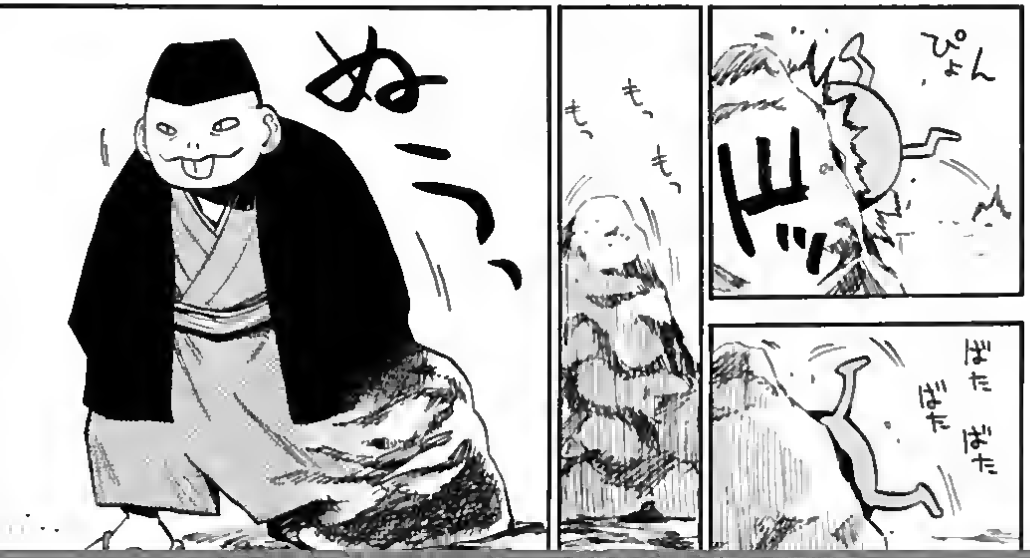
千夜！
何があった!?
月湖は!?
ロ゛ッ
しょ
将軍様…

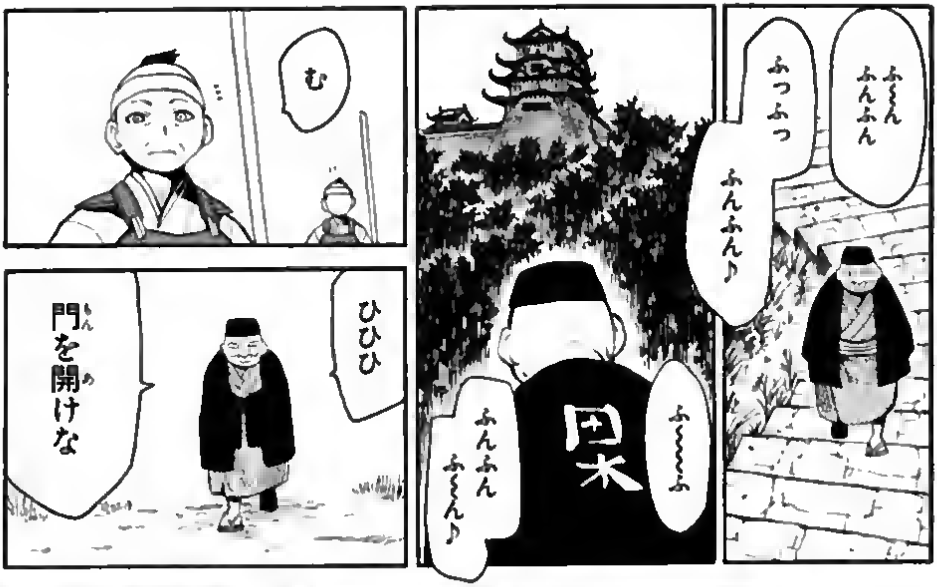
おれ…


まずは
作戦(さくせん)その1

大成功(だいせいこう)

## 第45回 幽界




ふ～ん
ふんふん
ふっふっ
ふんふん♪
ふ～～～ふ
ふんふん
ふ～ん♪
む
ひひひ
門を開けな

ご城主
松永久秀殿
が茶客
果心居士様
のお通り
だぜ
遅せーぞ
タゴォ
ひひひ
すいません
あれ
松永殿は？

あー？ 松？

おれが割った茶器見て蒼ざめてどっか行ったよ

まったく人間ってのは変わってんな

茶より椀を大事にしやがる

うわ――…何割ったんだろ物の価値のわからん野人め…

いやでもホラこうして漬物が違うだけで娘も良い趣きが出るでしょ？

茶も椀は大事なんですよ

……!!

まー確かに悪くねえ

姉上によく似てる

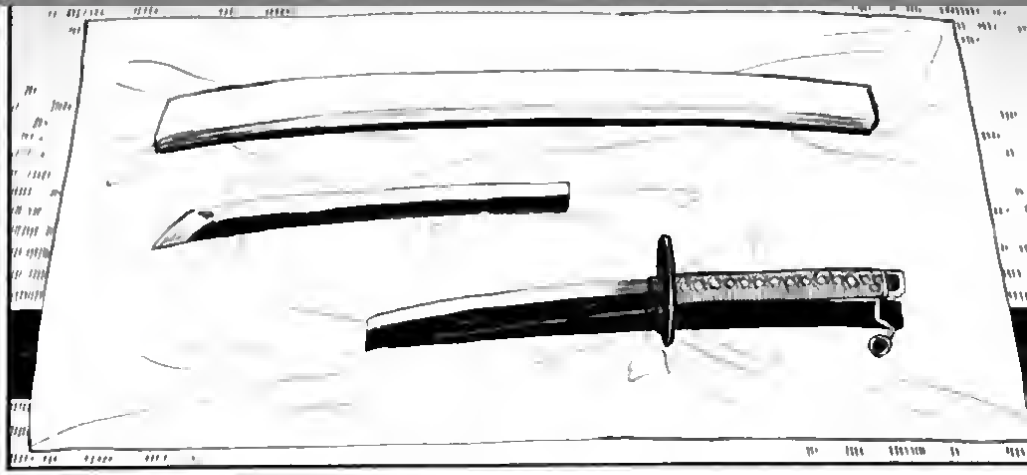
ぽ、

…姉上？

タゴォ松にも言っとけ娘は丁重に扱えよ

京
ふ――む…
月湖は妾の
支配地域には
居らんな
多分
多分とは
なんだ
華寅
文句なら
屋根の上の
あいつに言え
ゴゴゴゴ

# 第45回 幽界



…うん
まあ相手が龍じゃな…
生きてただけでも大したモンだぜ

……
…すいません

しかし見事にポッキリ…
ズシ…
……!?

は――――……
すみません

……

…真介くん
何をした？
へ？

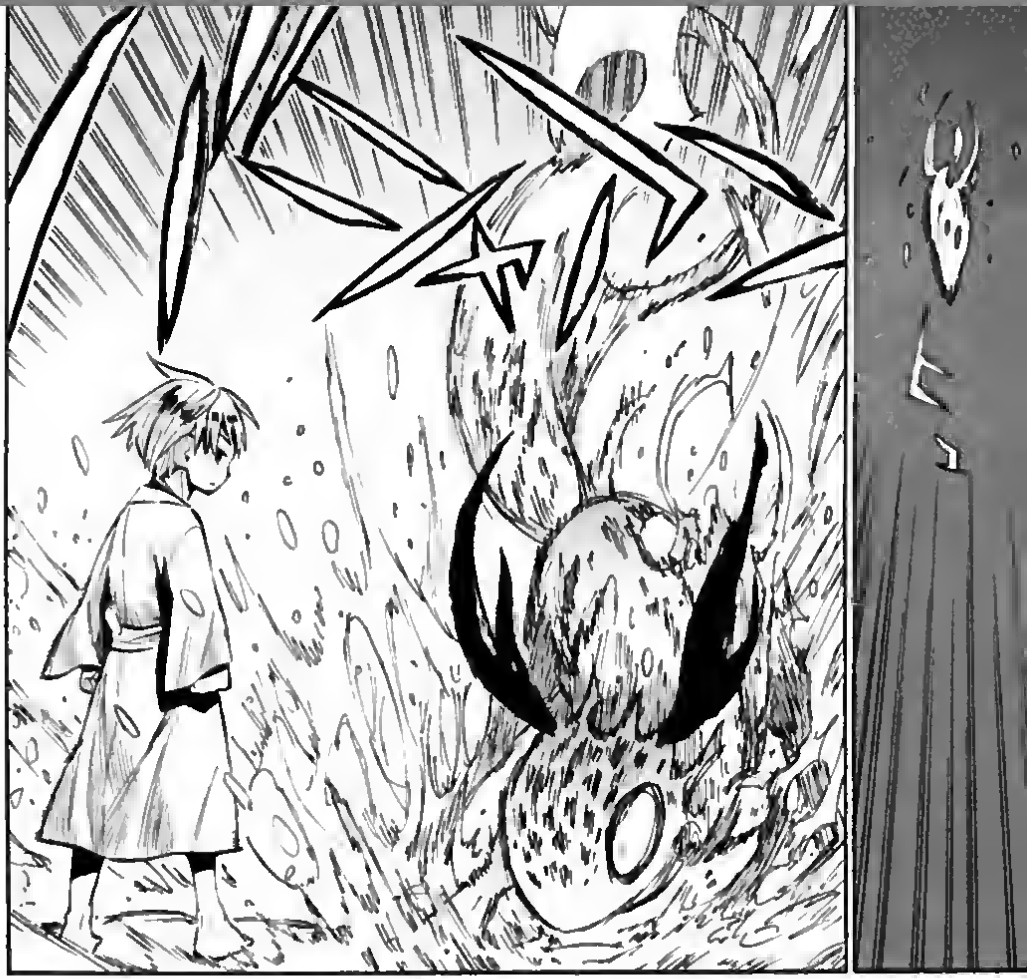
この魔剣
どうやって扱える
ようになったんだ?
何って…荒吹に
話しかけたりとか
して まあなんとか
……
まじか
それだけ
でかよ
そりゃもう
才能だな
は――
…剣でも
霊力でも
ねえが

…もう雷堂家に
返さなくていい
荒吹はお前を主として
認めている
お前の刀だ
打ち直すなり
短刀にするなり
好きにしな
…!!

んで？ おれに何か用があって来たんだって？
ん？ ああ… 断怪衆関係の経過の報告と…
…荒吹をもう少し長く貸してくれって頼みに…
！ そうだおれも聞きてえ
あの白いガキはおれの妹・氷岩を殺した神雲の弟子じゃねえか
なんで一緒に居る？
山戸迅火や妖狐たま
灼岩ってじょーちゃん達は今どうしてんだ
…話すよ

かように
乱れた気を
放っておっては
疲労で己が無力に
満足してしまうぞ

一晩かかるけど
聞いてくれ
斬蔵のおっさん
落ち着け
白童子


ヒュ

お前も無闇に飛び回るな
その霊格どこぞかの沼の水神であろう
京の小妖が騒ぐ
ニャー
……

ムトなる黒龍の
目的は白童子との
力比べだろう?
争い避ける白童子を
土俵にあげるための
交渉に月湖を
使うはずだ

人質は
無事で
なければ
意味がない
心配
するな
今日は
もう寝ろ

なに 龍は
また来るのか?
娘など
知らん
龍と戦って
たまるか
やだなあ
龍やだなあ

…災い呼ぶ霊力
ばかりがあり
避けたい争いを
避けられず
そのくせ
追いたい相手を
追えない
おれの霊力の
在り処が
本当の所
おれにはない…!!

今日ほど
この身が
憎いと
思ったことは
ない…!!
だが
その身が
お前だ
お前が
その身だ

己を
よく見よ
そして知れ
その身こそが
お前がお前で
あることを
叶えるための
手段である
ことを
その身を
極めよ
千夜!!
それが
望む世界を
創造する
道だ

この身を……
……極める…!?
明日やり方を真介に聞け
あれは闇との対話に長けた者
己が内に深く潜る方法も教えてくれるだろう
しんすけが……?
……なう
さけー
さけー

その身を極める方法？
華寅様がしんすけに聞けって

うーん…とりあえず千夜の中の千の闇をちゃんと纏め上げるってことかな…
龍相手だと千夜の言うこと聞かないんだろ
うん
あいつら龍が特別怖いみたいだ

このままじゃムド相手には追うのも逃げるも
月湖を奪い返すこともできない
……龍は川の神でもある
川は彼岸と此岸の境界線 互いを隔てる結界のような呪術的意味がある
火の上や川を渡れない怪物ってそもそもケツコ居るらしいよ
だから彼岸の者である闇達や霊力ある者は川の化身の龍の気に少しびびっちまうらしい

少し？
特に千夜の中の闇達は龍の神雲にずっと監視されてたんだ
龍気は余計苦手だろうな

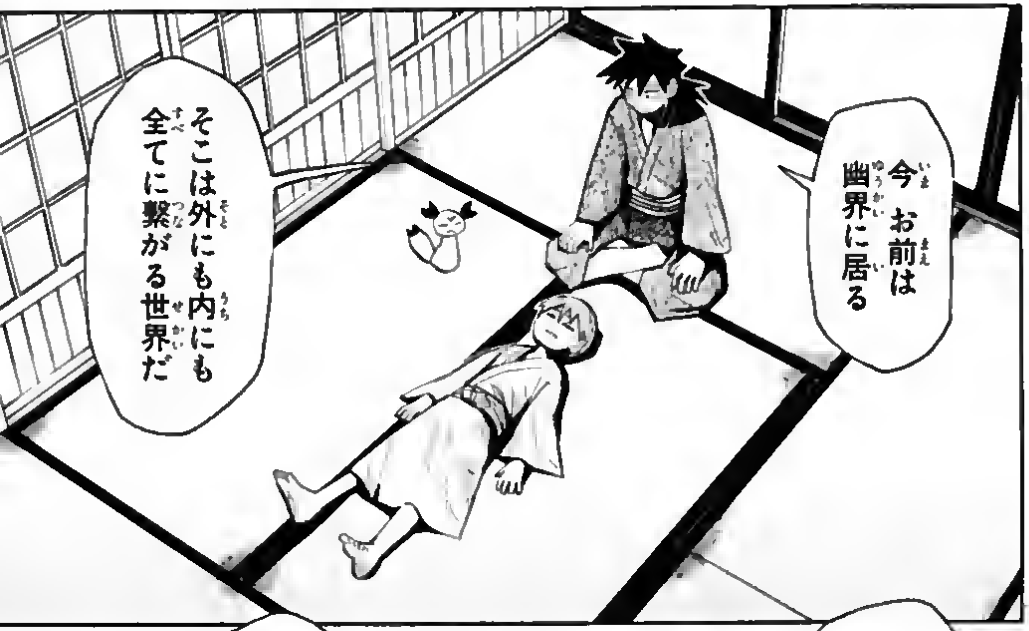
だが威圧されるってだけでこっちの霊力が減るワケじゃねえし
龍の霊力は確かに桁外れだがお前だって負けてねえ
自分の中に潜って闇達を直接説得するんだ
龍に引け目を感じるな と

己を信じろ
と
自分に潜る…！
やり方を教えてくれしんすけ
月湖を助けたいんだ…!!

月湖を助けたいのはおれも同じだ
千夜
おれさまもだ
なう
ああ
……
始めるぞ
まずは…
……
…寝るの？
寝るな
意識を保ったままできる限り脱力しろ

指…腕…足…
背中…腹…首…
顔…歯…舌…
頭にも力みはある
とにかく全身の
力を抜け
寝そう…
寝るな
集中しろ
目的を
忘れるなよ
……
…脱力ができて
落ち着いたら
どこにも
力を入れず
起き上がれ
想像だけで
体を起こす
んだ
…想像
だけで
起こす…
す
あ
普通に
起きちゃった
成功したな
え？

……!?
あれ…?


今 お前は
幽界に居る
そこは外にも内にも
全てに繋がる世界だ

そこから
お前の中に
潜るんだ
「おれの内に潜り
千の闇達と会う」
…と意志を
決めて唱えてみろ

よし…
今からおれは
おれの内に潜り
闇達と会う

お!?
千夜だ
千夜ああああ
いつもより存在感がある…はっきり視えるし聴こえる
ちゃんと空間があっておれがここに居る実感がある…
会いたかったよ…
お前ら…!!

聞け闇達!!
月湖を助ける
ために力を貸せ!!

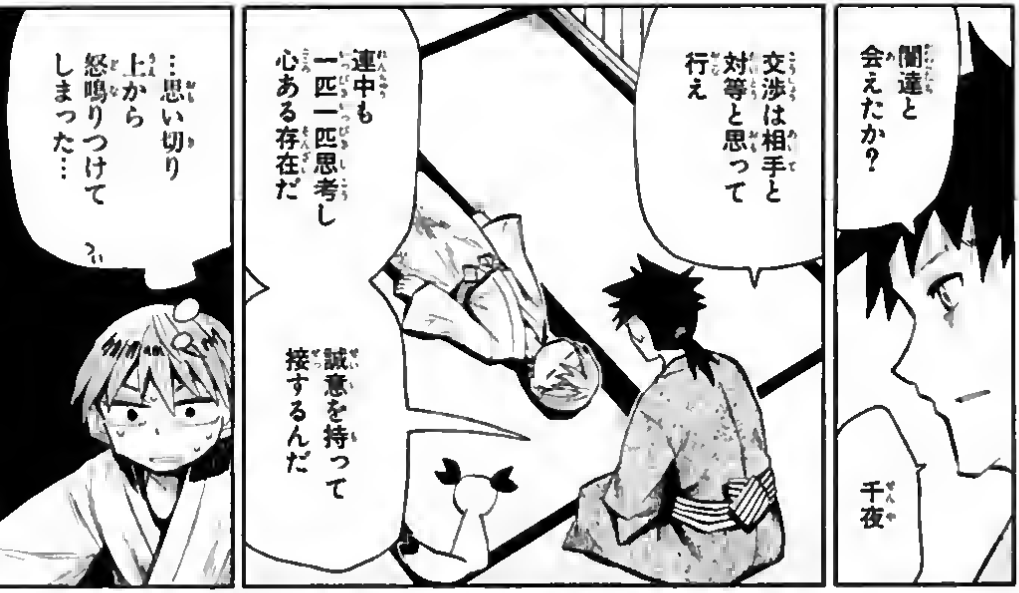
助けるだけだ!!
おれも龍と戦う
気はない!!
だからいちいち
怯えるな!!

えー?
でもなあ
娘なんか
どうでも
いいし
龍には
近付き
たくない
しなー

ゾクッ!!

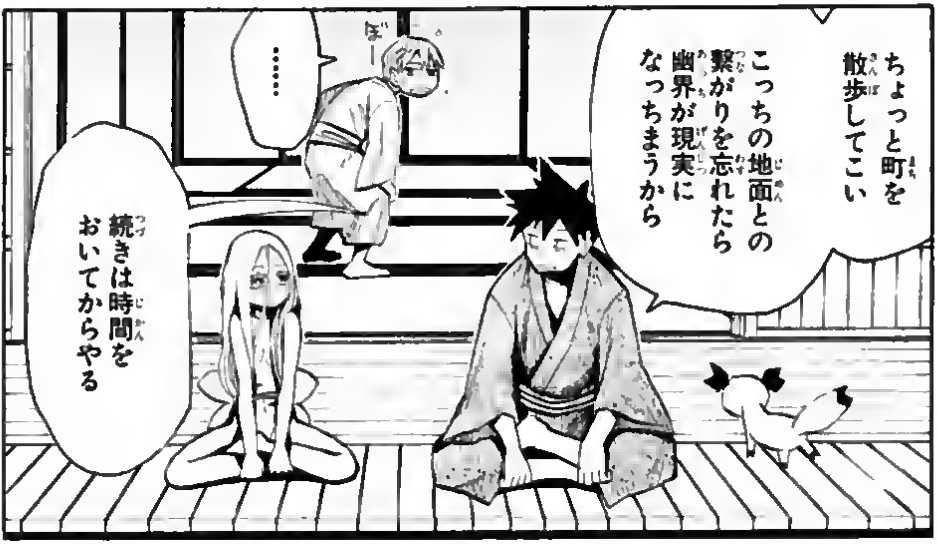
おれの体だ
おれが主だ!!
いいから黙って
おれに従え!!

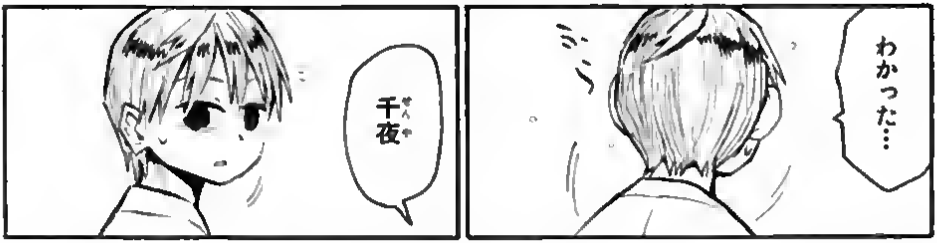
しーーん……
……


千夜
闇達と会えたか？
交渉は相手と対等と思って行え
連中も一匹一匹思考し心ある存在だ
誠意を持って接するんだ
…思い切り上から怒鳴りつけてしまった…

おー
大将よう
！
そこまで言うなら
無理矢理従わせてみりゃられりゃ…
は？
何を言って
るん
にゃらりゅ
る

ビクッ
はっ!?
起きたか…
夢に喰われたな
途中からいびき
かいてたぞ
う…せっかく
ちゃんと
会えたのに
最初にしちゃ
上出来だ


ちょっと町を
散歩してこい
こっちの地面との
繋がりを忘れたら
幽界が現実に
なっちまうから
……
ぼー
続きは時間を
おいてからやる


わかった…
千夜

…お前みたいに体に闇を宿す者達をおれは知っている

その関係の多くが支配者と奴隷のようだった

でも…これはおれの勝手だがお前にはそうあってほしくない

闇達とは信頼で結ばれるんだ

…そんな奴も居たし…ちゃんと強かった

うん……

…じゃあ行ってくる

足フラつくから気を付けろよ

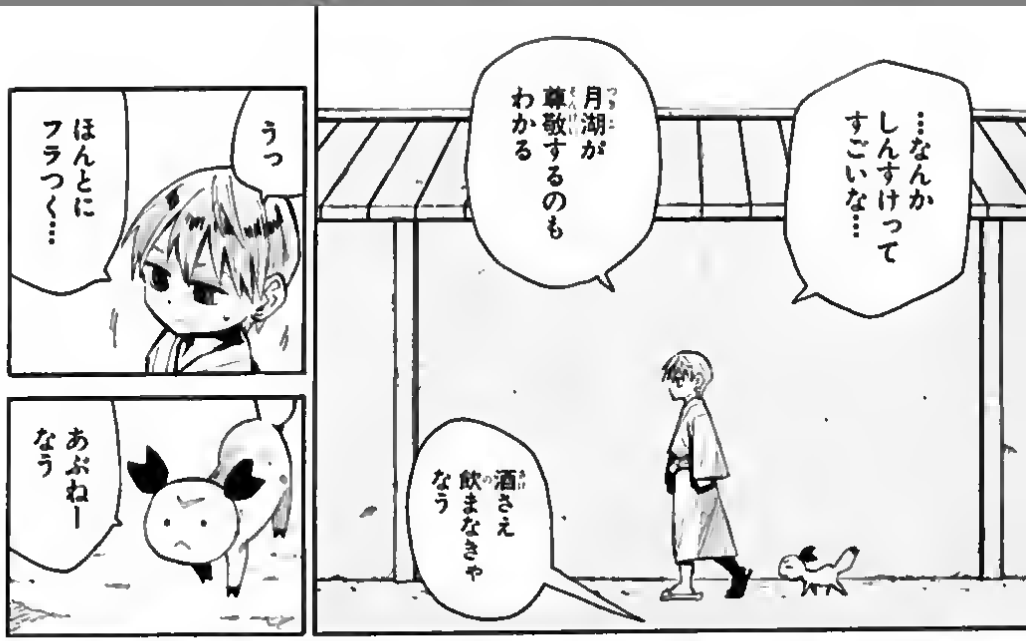
なうと一緒に行きな

…いい男だなお前

毎晩幽界でまじめに剣の稽古もしとるし

出入りはオオヤマミツチヒメの手ほどきか？

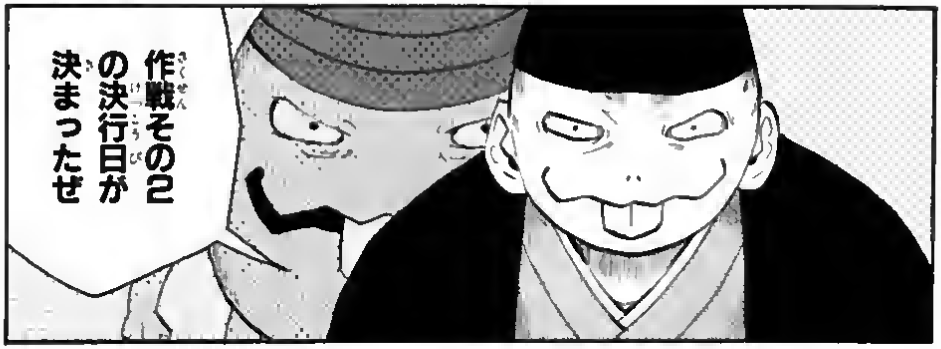
なに知り合い？


…なんか
しんすけって
すごいな…
月湖が
尊敬するのも
わかる
酒さえ
飲まなきゃ
なう
うっ
ほんとに
フラつく…
あぶねー
なう

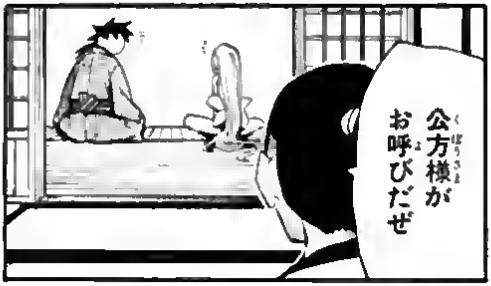
……

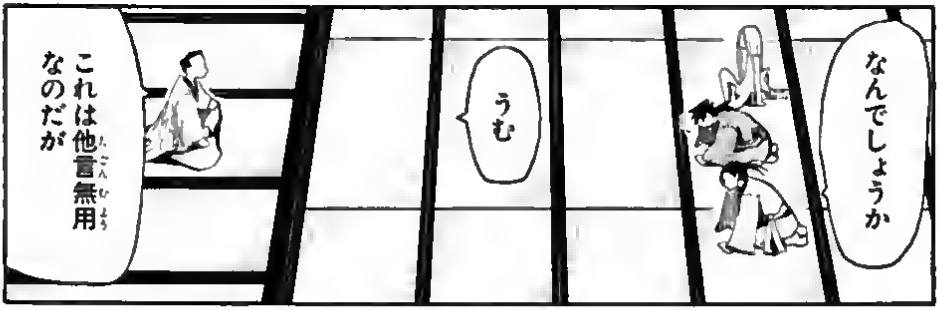
！
お前は…

よう千夜
ひひひ


作戦その2の決行日が決まったぜ

真介くん
華寅様
ちょっと

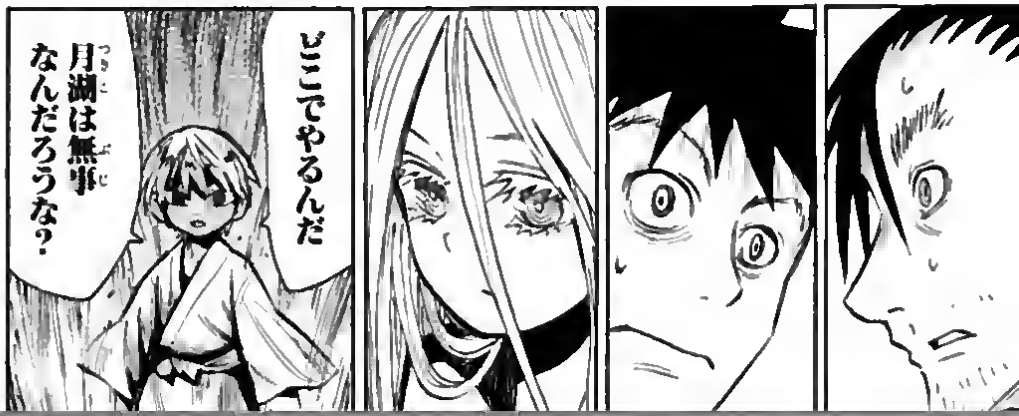

公方様がお呼びだぜ


なんでしょうか
うむ
これは他言無用なのだが

5月19日

この日
ムドと戦ってもらうぜ
娘を賭けて一対一だ

この日
松永久秀が
御所を攻める
わしを謀殺せんとしてな


どこでやるんだ
月湖は無事なんだろうな？

ひひひ
当日明け方
使いをよこす

一人で来いよ
そこのチビも
ダメだ

…なう…

…言っとくが
隊を見て
娘を奪って
逃げようなんて
セコイこと
するなよ

む…

…お前は戦い
たくないらしい
がな…

記憶を失くす前のお前は
多くの闇と戦い殺してきた
んだ

今更戦いの渦から
逃げられると思うなよ

それは……
……そうか…

やっぱり
そうなんだな…

……

…おれのことを
知ってるのか

ひひひっ
ひひ

おれぁなーんでも
知ってるよ

お前は断怪衆の霊力改造人間

人でも闇でもねえ…

戦うためだけに造られた兵器だ!!

…兵器……

ついでにもうひとつ教えてやるぜ

あの真介という男はな

お前の敵だぞ?

?

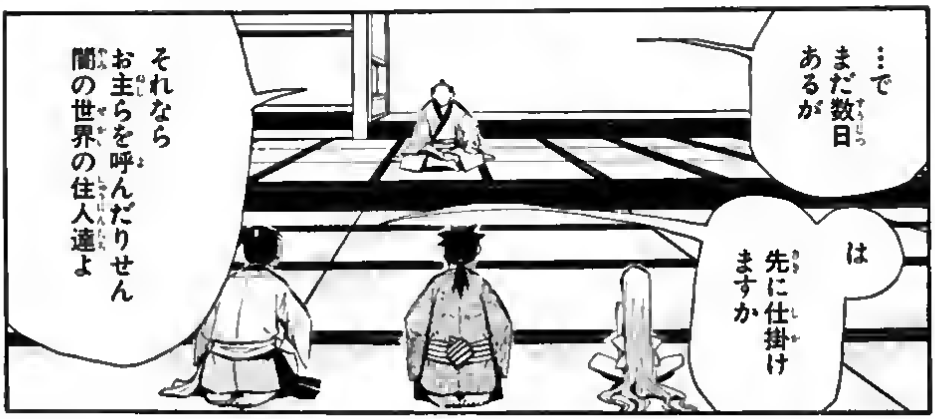
お前の属する断怪衆の本山を壊滅させた一味…

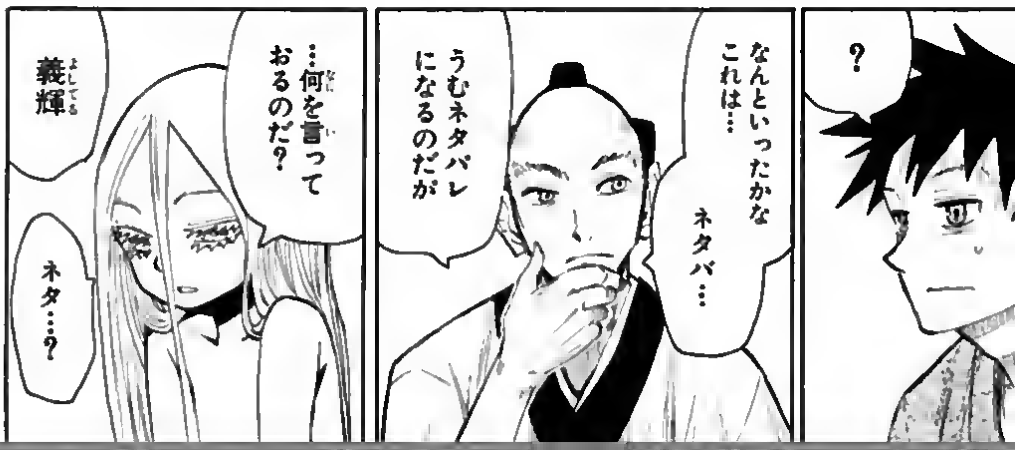
お前が帰る場所を奪った男さ!

お前の親父・神雲を封印し お前自身をも殺そうとした山神の弟子でもある!!

……
しんすけが…
ひひひ!!
な?
そんなの敵だろ?
記憶がねえのをいいことにお前を連れまわして一体何に利用しようとしてるんだろうなア!!
恐ろしい男だぜ!!
ひひ
じゃあな!!
うそっぱちなう
わかってる
しんすけがどんな人か
おれはちゃんと知っている

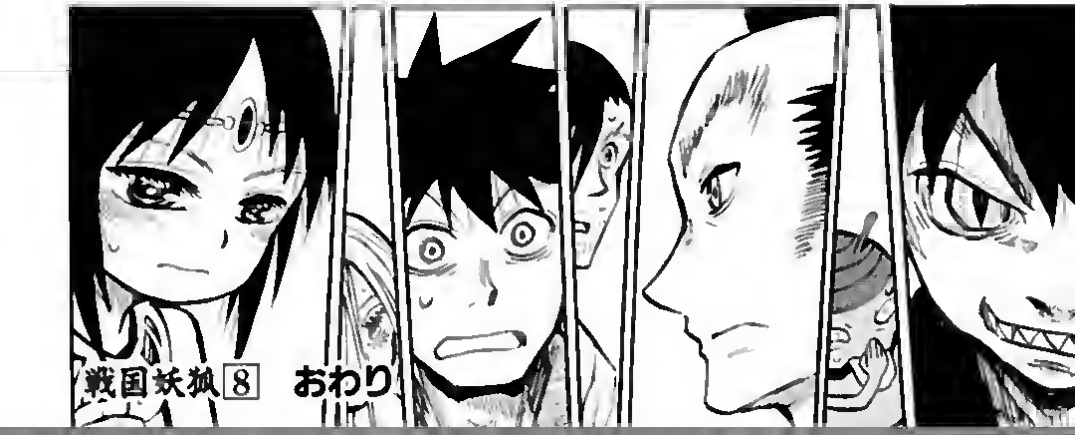
でも…なんでか
おれにはわかるんだ…
あれはウソじゃ
ないって…
……


…で
まだ数日
あるが
は
先に仕掛け
ますか
それなら
お主らを呼んだりせん
闇の世界の住人達よ


？
なんといったかな
これは…
ネタバ…
うむネタバレ
になるのだが
…何を言って
おるのだ？
義輝
ネタ…？

ん？ 華寅すら
気付いておらぬとは
まあいい…
ともかくな
ネタバレ
わしはその日
死ぬ
は？
…いない…
一人でやって
みるか
続き
しんすけ
が敵
考えるな
集中

そこまで言うなら
無理矢理従わせてみろやぁ!!
本来己達やそういう力で結ばれた関係のはずだぜ!!
主従を懸けて勝負だ!
千夜ァァ!!
闇達とは信頼で結ばれるんだ
……


戦国妖狐 8
おわり

# 戦国妖狐
## 第8巻

作画スタッフ
小林あべし
石坂ケンタ
蝶田じゅえる
臼井仁志

タイトルロゴ
赤羽美保

カバーデザイン
行徳ゆみ(オン・グラフィクス)

担当編集
宮本幸則